荒木飛呂彦

季節がうつり変わるように、あるいは人が人生を歩むように、作品のテーマというものも過去からの延長線上になければと思うのです。断ち切ることは、してはいけないと考えます。
SBRには「ジョジョの奇妙な冒険」に登場したキャラクターに似た名前の人物が出て来ますが、彼らの先祖と考えるかあるいは、パラレル・ワールドと考えてください。
テーマは同じ人間讃歌。人生という奇妙なレースを登場人物たちはどう突き進むのか!?

●週刊少年ジャンプ・H16年12号〜17号、特別編集増刊青マルジャンプ掲載分収録

荒木飛呂彦

JUMP COMICS

STEEL BALL RUN

スティール・ボール・ラン

VOL. 2

(1st.STAGE 15,000メートル)

荒木飛呂彦

集英社

ISBN4-08-873613-3

C9979 ¥390E

定価 本体390円十税

雑誌 43010−13

1st.STAGE15,000mのスプリントレースは、開始わずか1,000mで優勝候補が脱落という、波乱の幕開けとなった。トップをゆくのは無名の男・ジャイロ。その後を天才騎手・ディオが追う／ 勝利は誰の手に…!?

ジャンプ・コミックス

East & West Tribune

Since1840

ジャンプ・コミックス

1890.sep.23

"STEEL BALL RUN" RACE!

STEEL BALL RUN スティール・ボール・ラン

1st.STAGE 15,000メートル

STEEL BALL RUN スティール・ボール・ラン VOL.2

荒木飛呂彦

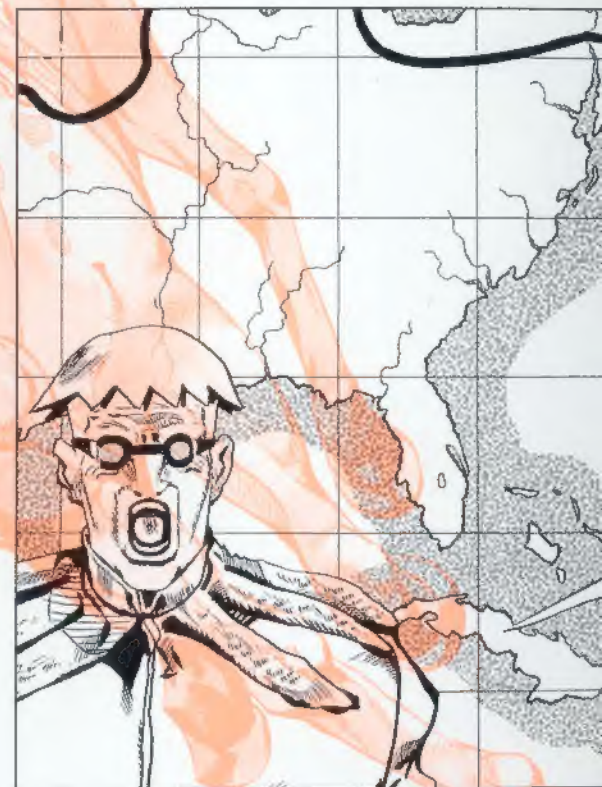
集英社

$50,000,000

Hirohiko Araki & Stephen Steel produce!!

only one this holiday—who comes close tc understanding what he is about, whc makes no demands on him and doesn't

only one this holiday—who comes close tc understanding what he is about, whc makes no demands on him and doesn't

only one this holiday—who comes close tc understanding what he is about, whc makes no demands on him and doesn't

From SanDiego to NewYork!!

only one this holiday—who comes close tc understanding what he is about, whc makes no demands on him and doesn't realize there is something wrong.

An uncle notices the two together and makes a remark to my parents on the order of: "Isn't it nice how well those two get along—such good boys," and my mother

集英社

JUMP COMICS

STEEL BALL RUN

1st.STAGE（ファーストステージ） 15,000メートル

vol.2

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

"STEEL BALL RUN" RACE

ジャイロ・ツェペリ

不思議な鉄球を、自在に操る特殊能力を持つ謎の男。

ジョニィ・ジョースター

元天才騎手だが、慢心から半身不随となる。ジャイロの鉄球の力に希望を見い出し、秘密を知る為、レースに参加。

砂男サンドマン

ネイティブアメリカンの青年。白人に奪われた部族の土地を取り戻す為、己の足のみでレースに参加。

1890年9月25日　午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！
まずは1st. STAGE　15,000メートルのスプリントレース。いち早く群れから抜け出たのは、無名の男・ジャイロだった！　その後に優勝候補のディエゴ、アブドゥルが続いた。
巨大なラクダに乗ったアブドゥルの体当たり攻撃に怯むジャイロだったが、回転する鉄球を岩場に打ち込み、その振動でサボテン群の位置を探索！　アブドゥルをそこに誘い込む作戦で見事撃破し、わずか1,000mでアブドゥルが脱落するという波乱の幕開けとなった──。

START
SAN DIEGO

全行程中にニューヨークを含め9か所のチェックポイントを設定。そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そして各チェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！

GOAL
NEW YORK

『スティール・ボール・ラン』レースとは
太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による
北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km
優勝賞金5千万ドル!!(60億円)
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3600人を超えた！

ポコロコ

怠け者の黒人青年。占い師に人生最高の至福の時期が訪れると告げられ、レースの参加を決意。

ディエゴ・ブランドー

通称ディオ。イギリス下層階級の出身だが、競馬界も認めた天才騎手。

スティール夫人

スティールを支える妻。夫を「よちよち」となだめる彼女は弱冠14歳!?

スティーブン・スティール

40年のキャリアを持つプロモーター。SBRの主催者。

STEEL BALL RUN

vol.2
CONTENTS

1st.STAGE 15,000メートル

#6 涸れた川；ディエゴ・ブランドー

そして
驚愕の
大波乱ッ!

優勝候補!
砂漠の旅人
ウルムド・アブドゥルが
スタート
1,000メートルで
いきなりの脱落――ッ

先頭は
ゼッケンB-636
『ジャイロ・ツェペリ』は
依然スピードを
ゆるめないッ!
突き放すッ!
突き放すッ!
およそ20馬身
はなして
同じく優勝候補で
英国競馬界の
実力No.1貴公子!
ディエゴ・
ブランドーこと
ディオ!
まったく近づけて
いないッ!!

後続集団との差は50馬身以上に広がったァーーッ
完全に『ひとり旅』だッ！
ドドドドド
なお 謎の選手ジャイロ・ツェペリの経歴については「明日の朝刊締切までに調べろ」との
大会オーナー「スティール氏」の命令が出ました
ドドドド
完全にひとり逃亡劇を演ずるつもりだーーーッジャイロ・ツェペリッ！
ドドドド
いや……
あの……『ディエゴ・ブランドー』
ドドドド
よく見るとさっきから……妙な動きだ
右後方から追ったり左から寄ったり
そして少しずつジャイロとの差を縮めている
近づき始めている‼

ドドドド
彼はたしか 王族も参加する イギリス競馬界で ここ数年でのし上がってきた俊英騎手！
まさか……
シュン！！
ドドドド
フン
……
ザパラッザパラッザパパラッ
ザパラッ

ラクダの攻撃が あんな形で 終わったのには 驚いたが……
なんて事は ないヤツの ようだったな……
今
ただの ド素人と 認識した……
先が読めた……
シュン
また ジャイロとの 差を縮めたぞ!!
まさか!!
まさか! あれを 見つけたのか!? イギリスの騎手!!

……
ドドド
?!!?
ドド
ドドドド
いない……!?

いないぞ……
!?
どこだ!?
ディエゴ・ブランドーがいない……
おいおいなんだ!?
どういう事だ!?
ディオが消えた!

並んでるぅーーッ
並んでるッ!
並んでる!!
並んでるぞオオーーッ
すでに大後方『首ひとつ』の差でジャイロ・ツェペリと並んで走っているぞオーーッ
ディオオオオオオオーーーッ
どういう事なのかッ!?
まるで魔法だッ!
ドドドド
いつの間にかツェペリの加速に追いついている!!!!
まったくディオが加速しているようには
ここからは見えなかったアアアアアアーーーッ!!
……

なんであろうと……
必ずクセというものがある
それが機械であろうと物であろうと
特に馬は生き物だし人間以上にストレスもあれば個性もある
やはり！ヤツは見つけているッ！
ヤツは読んでいた　だが…こんな短時間でやってのけるとは！
たとえばある馬は加速するとき必ず尾を上下させてからダッシュする！
またある馬は追い込まれると集団の外側にふくれて走ろうとする
首をふる馬
嫌いなタイプの馬にせまられると耳をクルクル回転させる馬
体を沈めるヤツ
歩幅を変えるヤツ

レース中
個々の馬のクセを
読みとり
そこを攻撃すれば
どんなスタミナの馬
だろうと
抜く事は可能！
当然
この男が
乗ってる馬にも
クセがあり
この馬は
8回
呼吸することに
1度
必ずわずかに
体を左に
ぶらしながら
走る！
そして当然の
事として
その時、ぶれた分
スピードが落ちるッ！

3呼吸
4呼吸
5呼吸
6呼吸
7呼吸
左にぶれる
抜いたッ！抜いたッ！抜いたァ――ッ!!
ディエゴ・ブランドーが頭ひとつ抜けたァ――ッ
つまり！
馬がぶれた時だけこっちが加速すれば我が愛馬の方は無駄な労力を使わずに疲れさせずにヤツのスピードに追いついていく事になる

トップに立っているのはディオだあーーーッ
馬のクセをつかまれたッ!
ジャイロはこのことを知っているのか!?
……いや!
知ったところでクセは直したくとも直そうとすると違う弱点が出てくる!
それは人間も馬も同じサガ!
しかも一度追い抜かれたら
もう抜き返す事は出来ないッ!
同じ方法で今度はどんどん差を広げられていくから!
!!
3呼吸
4呼吸
5呼吸
6呼吸
7呼吸

1馬身
差がついたあああ
ああぁーーーッ
信じられないッ！
加速しているように
見えるのは
ジャイロの方なのにッ！
なのに自然に
ディオの方が
先頭に立っていくッ！
天才だッ　天才です！
これは魔法にしか
見えないッ！
……………
おい
どういう事だい
……？
……
これは
……
ブン
プロの技術という
事さ……
…そして君は田舎者の
走り方だ！
………
もしかして
クセか？
そのまま
うしろに
下がっていろ
ウソだろ？
オレの馬に
走る時のクセが
あるっつーのか？
教えたところで
どうなる？
クセは直らない
……宿命のようにな
12,000の
表示イイイイッ！
涸れた川ですッ！
ディオことディエゴ・
ブランドーが最初に
橋を渡りますッ！

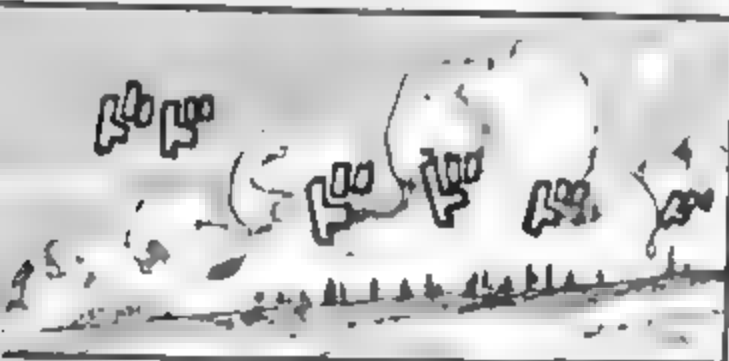
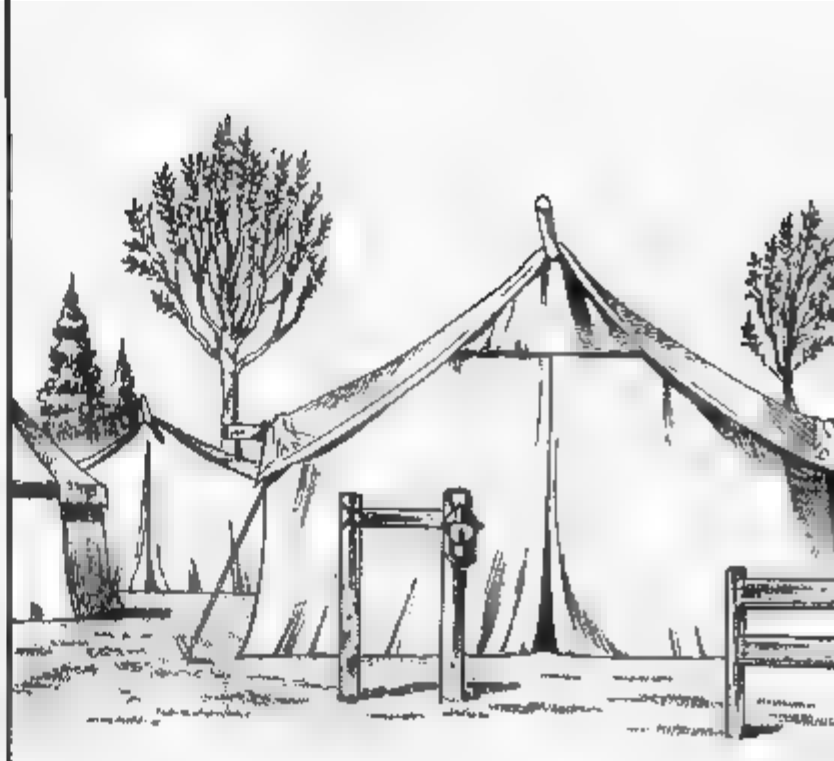
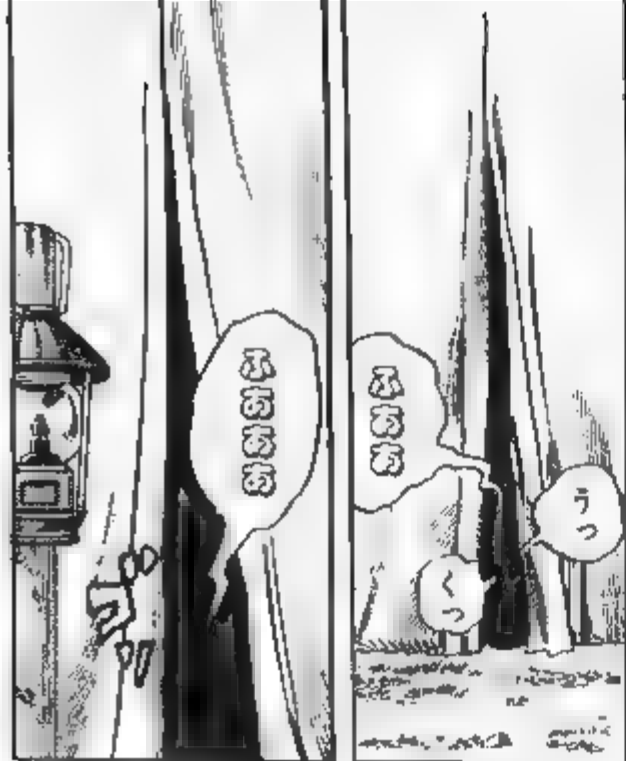
8呼吸
また行ったあぁぁ——ッ!!
2馬身ッ!
3馬身ッ!
追いつけないッ!追いつけないッ!もう追いつけないジャイロ・ツェペリ——ッ!!
おい
クセだとよどういうこったい?
おめーさんにクセがあったのかよ……知らなかったぜ
……どんなクセなのかよオオ——

とんでもね
強敵が多いなああ
世界ってのはよオオー
だがクセなんて・・・・
直さなくていい・・・

もっとクセを出して見れ

おいおい
左によろけるのがお前えのクセか？
よれてるぞ
だが……
いいぞ！もっとやれ……もっとクセを出して走れ……

ディオ渡れないッ！
ディオ躊躇したッ！
ジャイロ・ツェペリ
そこを無理矢理
ドドドドド

ディオ 橋を渡れませんッ！
ディオ…は 橋を降りて 川を渡りなおすしか ない――ッ
く…
ま！……
ドドド
オレの母の時と同じだ!!
謎の鉄球の回転が 馬のクセを爆発させる ように引き出したッ！
また 鉄球だッ！
ディオ 橋を渡れないッ！ 大きく 遅れましたッ！
あ… あいつ……
ドドドドド

ふあああ
うっ
くっ
ふあああ
ふああ
モゾモゾ
ほああ
うっ
くっ
……
きのうの夜さぁ〜〜〜
ふあああああ
このランプに虫がいっぱい寄ってたかってくんだよね〜〜〜
何匹たかってんのか数えてたらさぁ〜〜〜
すっげェ〜〜〜良く眠れたッ!
フーフー

これでよオオーーー
10時スタートの「スティール・ボール・ラン」レースもッ！

ばっちしの絶好調だぜエエーーーッ

す
あの
いや
すんません……
今何時すか？
あんたのこれからの

すげえぞッ！
こいつはすげえエ
ーーーッ
みんなの馬にふみしめられて〃
YO！ YO！
こんな走りやすい地面は出会ったことねえぜ
エエエーーーッ〃
ポコロコ絶好調オオーーーッ
「ポコロコ」(21)

#7 ポコロコとサンドマン

でも
なんてスッゲー！なめらかな地面なんだあ――ッ
みんなに踏みしめられてッ！とんでもねえスピードが出るぞ――ッ
YO!
YO!
やっやっぱ！ラッキー・マンかあ～～このボコロコはよォオ～～
オホッ
今…気づいたんだが……
ドドドドド
いたッ！
見えたぞッ！
なんて爽快なスピードなんだ!!
最後尾集団だ追いついたぁぁぁ――ッ
なんでみんな教えてくれなかったんだ？
燃料がリッター400メートルしか走らないと
欠陥じゃあないか大陸横断は
はい……残念です祖国に帰りましょう男爵
ぐっ

うげえ
く……口の中に
ば……馬フンだよォオォ〜オイッ！
やっぱ！む……矛盾してるゥ
矛盾してるぅうう オレってやっぱり……
違うよッ！50億分の1なんかじゃあなかったんだああ
くっ
……

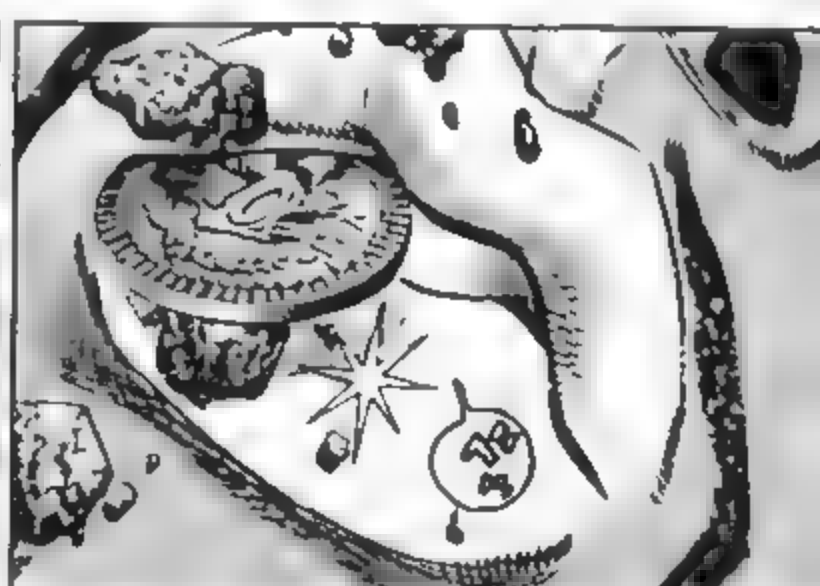
うほおおお〜〜〜〜
神様ありがとう——
YO!
YO!
うけえ
くっ
くそっ顔にッ
くせえッ！
わはははは—これってやっぱりッ！
オレってやっぱりッ！…なのかあ——
WANTED
$500
うわああ——っ

お…おいッ！
くそっ！
コースをはずれてるぞッ！

崖だッ！

ここはレースのコース上じゃあねえーーーッ！

…………

や…やっぱりオレは…

ちくしょうッ！
あいつのせいだッ！
どこ行った!?

あのインディアンだッ！
あいつがこっちに走ってるからここがコース上だと思っちまったんだッ！

オ
オオオオオ…
オオオ…

…………
インディアンだッ!
あの野郎がこっちだとだましたのかっ!?
いや…
違うけどよォー
あいつが ああやって スゲー勢いで 走ってるんで つい…いっしょに つられてよォ
付いて来ちまったんだッ!

だが地図をみろよッ！
このルートを通れば上り坂のとこまで半分の距離でショートカットだ！！
スタート

馬がケガしてもいいっつうーんならなッ！
オレは戻るぞッ！チクショオオオッ！あの野郎のせいだッ！

オレは50億分の1の男
おれは優勝する
優勝して……
故郷に帰って……
もっともっとハッピーに暮らすんだぁ——ッ

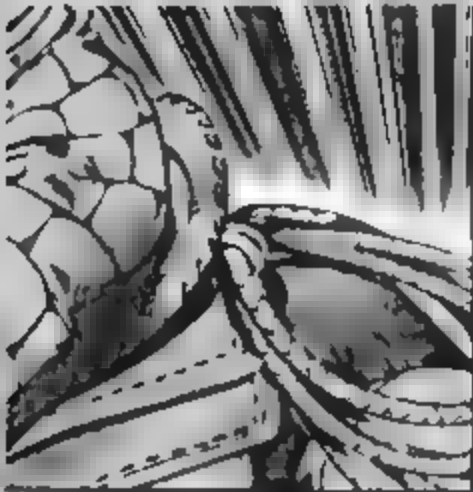
おおおおお
おおおおお

持ってるロープを使え……
操れるのならな

バフゥウウーーッ

おおおおおおおおおおッーー

ドドドド

ドド…

ドドドドドドドドドド
こいつ……
このペースで海岸からああやってズッと走って来たのか? どういう走りしてんだ?
このインディアンがいたおかげもあるが
今の崖をオレが飛び越えれたのは……それも幸運の証明つーことッ!
そして こいつもッ!
優勝する気マンマンなんじゃあねー〜〜のかァアア〜〜〜ッ
ドドドドドド
!

レースの集団だッ！
YO！
YO！
合流できたぜ――――ッ
YEEEEE HAAAAA!!
YO！
YO YO－ッ
なあ～～～～先頭は今どのあたりにいるか知ってるかい？
ひょっとしてあんたが先頭だとか？
違うよな～～～～
走り方がタルイもんおたく……ウヒャヒ！ヒ！

さぁぁぁ いよいよ〜〜〜ゴールまで6,000メートルの看板を越えたーッ
1st STAGE 15,000メートル 残された距離はまもなく13! 上り坂が終わると下り坂!
依然トップはジャイロ・ツェペリ!!
後続との差はおよそ60から70馬身と広がっている! 逃げ切ってしまうのか!? もしかするとこのまま逃亡劇が終結してしまうのか!!

もしかして……

あれが

先頭のヤツか？

そのうちに必ずジャイロ・ツェペリの馬はバテてくる……

加速してゴールを決めに行くのは残り2,000を切ってからが妥当なのは依然変わらない見解……!!

だが

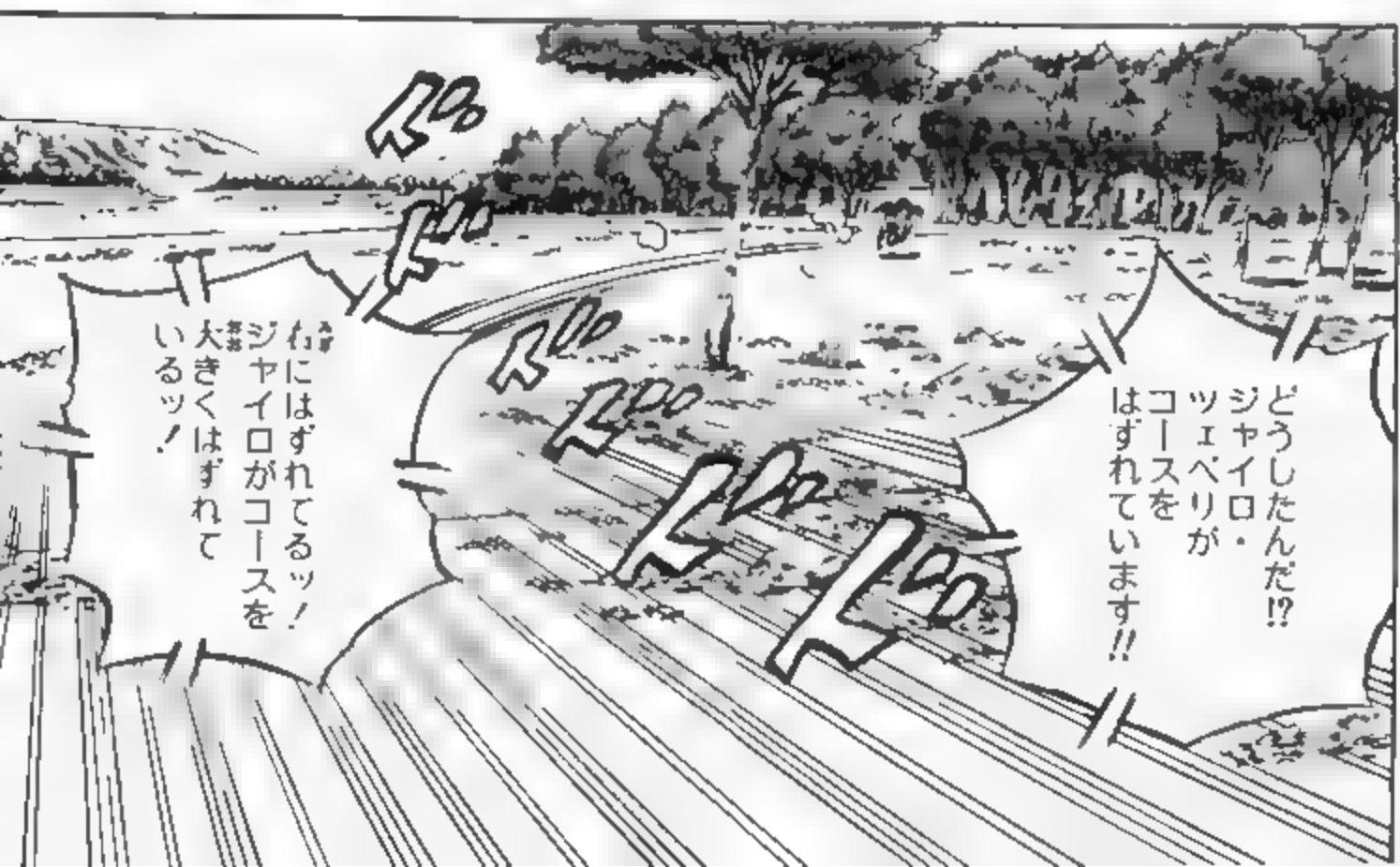
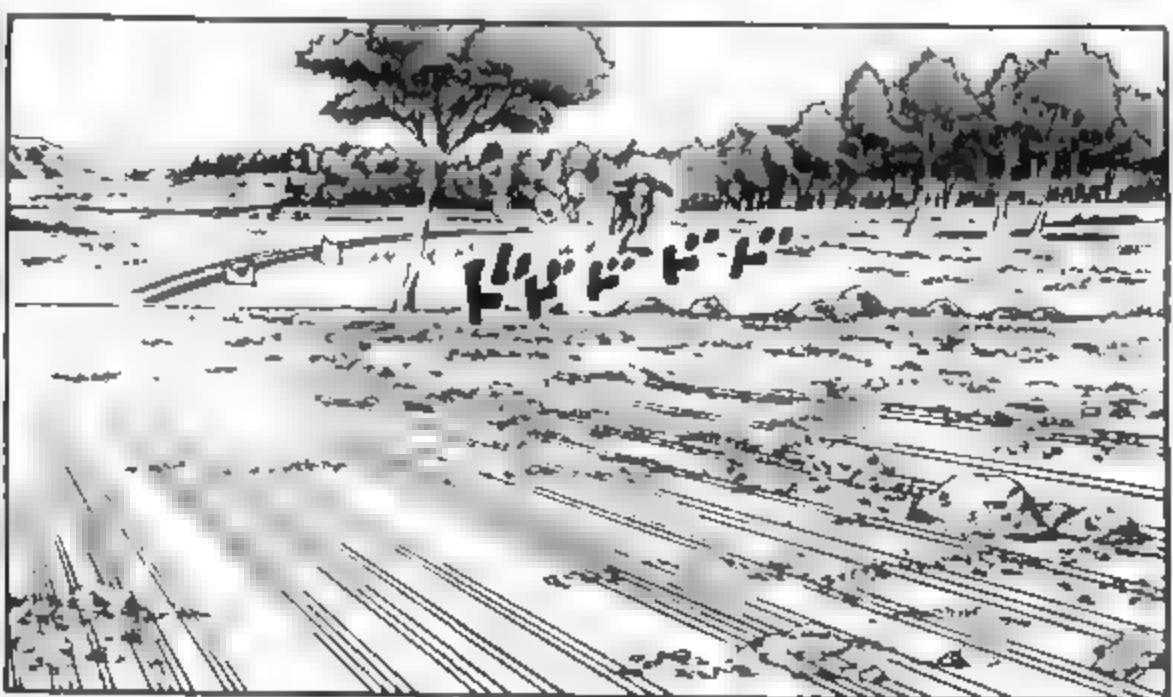
このまま彼の姿が見えなくなってしまったらもはや追いつくのは不可能になるかもしれない……

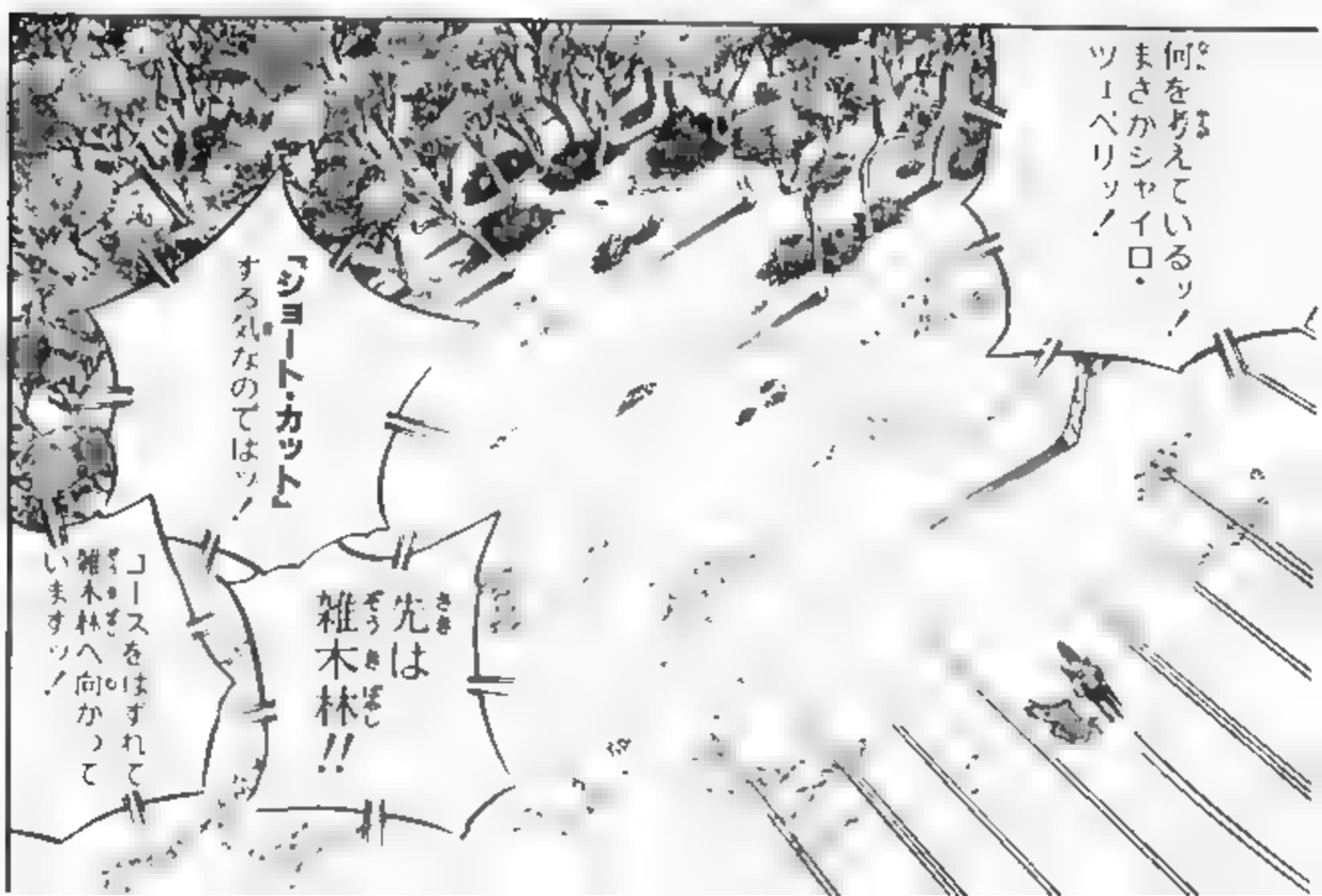
オレにとってこのレース…

優勝や賞金なんて目的ではないが

あの『鉄球』の謎を聞き出すのには彼にオレを認めさせる事が必須ッ！

このSTAGEで彼を負かせば それが手っとり早い認めさせ方になるのは明白！

彼との
この「間合い」を保ち
勝負を
決めに行くのは
残り
2,000メートルを
切ってからだッ！
……………
ドドドドド
ドド
ドド
ドド
どうしたんだ!?
ジャイロ・
ツェペリが
コースを
はずれています!!
右にはずれてるッ！
ジャイロがコースを
大きくはずれて
いるッ！

ドドドドド

……まさか……

何を考えているッ！
まさかシャイロ・ツェペリッ！

「ショート・カット」する気なのではッ！

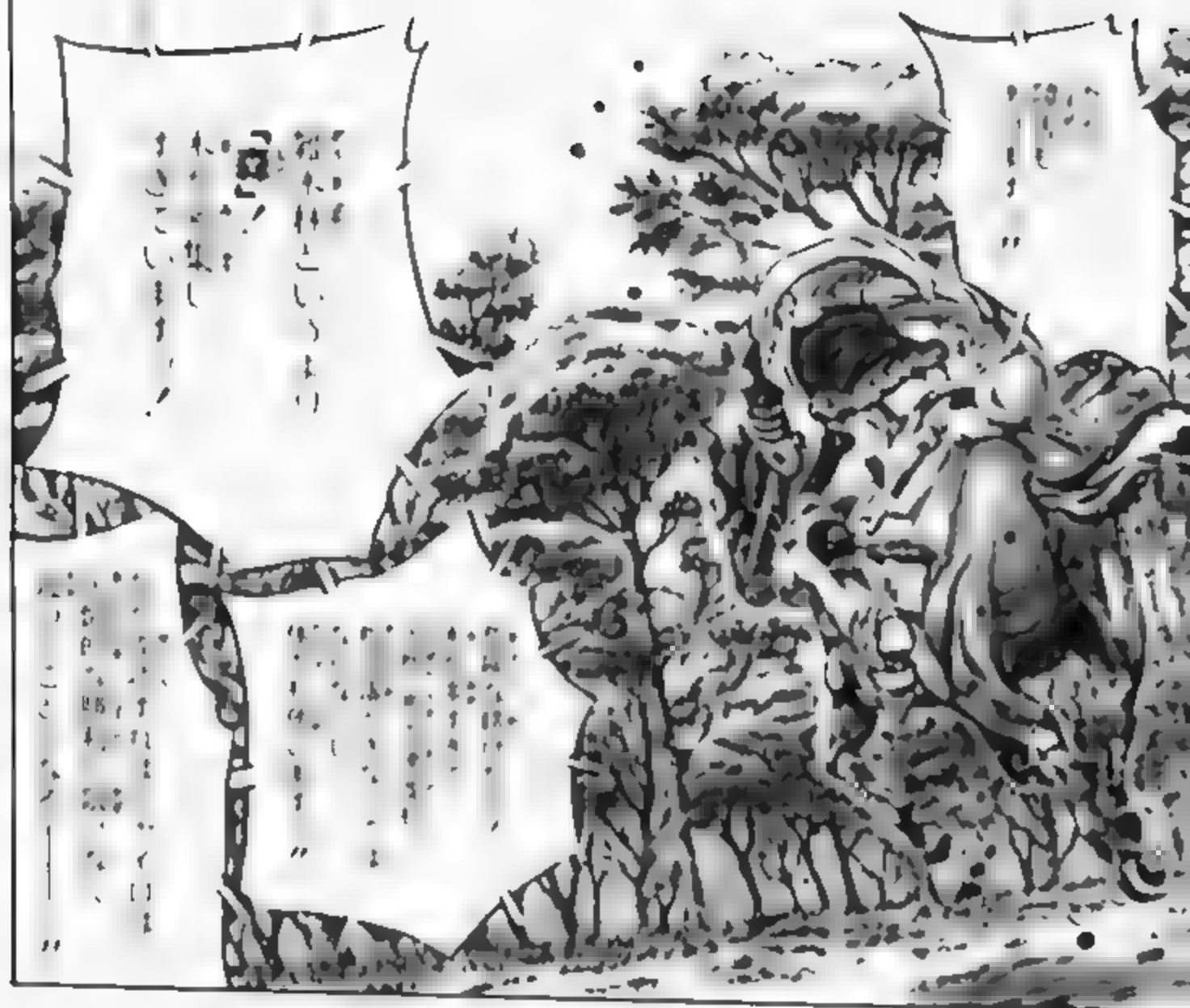
先は雑木林!!

コースをはずれて雑木林へ向かっていますッ！

ジャイロ・ツェペリ
コースを
右にはずれている――
『ショート・カット』
するつもりだ――ッ
この雑木林を
突っ切れば
走行距離が800から
1,000メートルは
浮くことになる――ッ
ショート・カットだ！
START
ジャイロの
「林越え」だアア
――ッ
ドド
ドドド
ドド

さあ 後続はどうする!?

後続馬たちはどっちのコースを選択する!!
「雑木林」か!?
「通常ルート」か!?

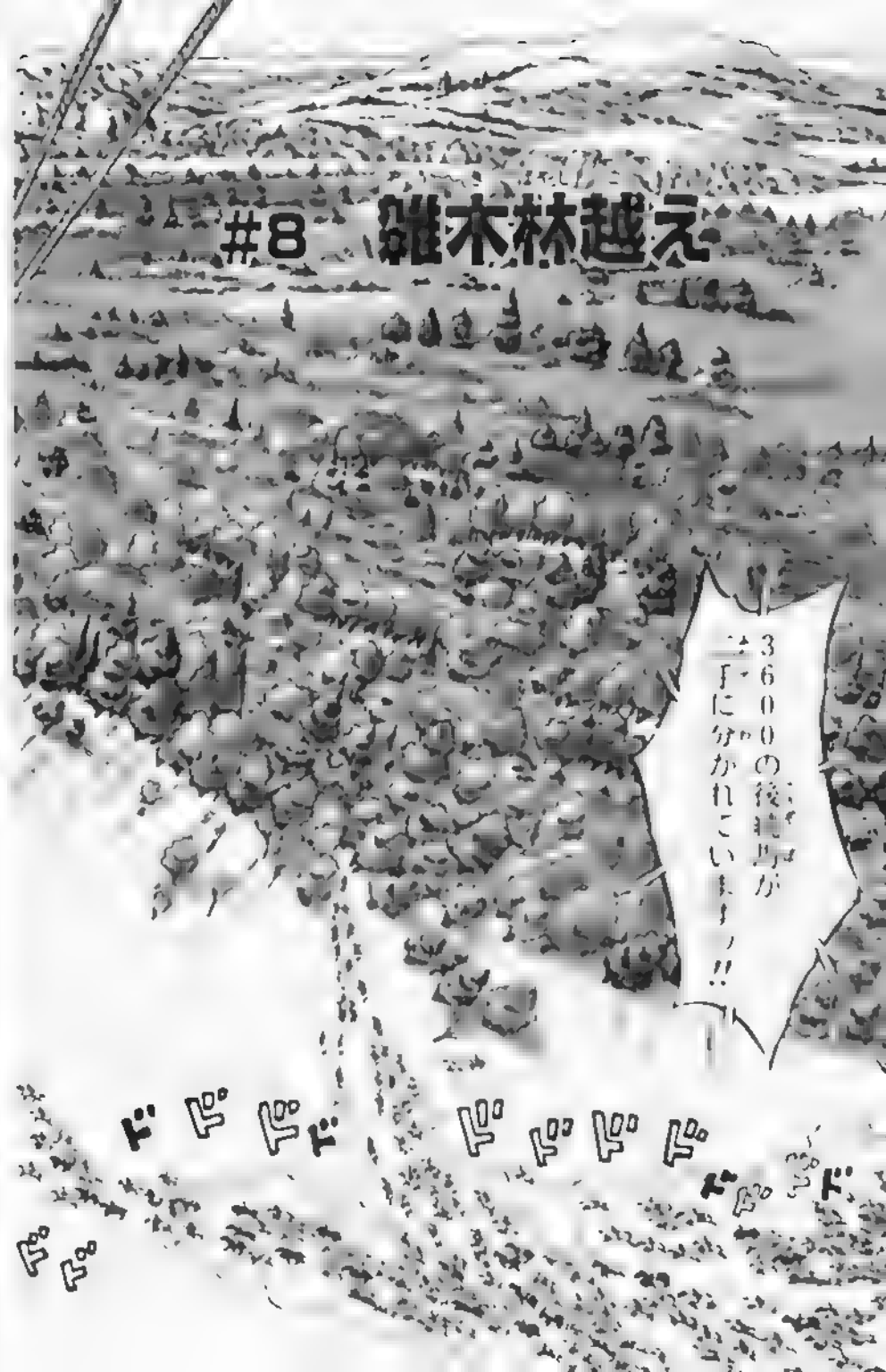
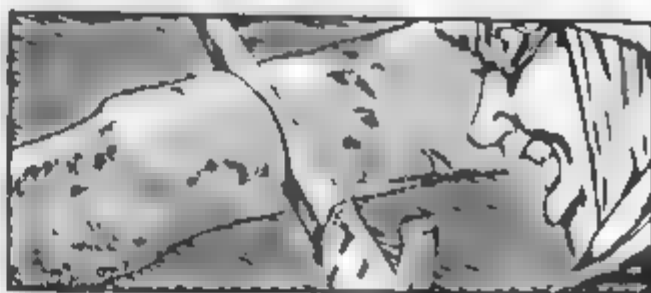
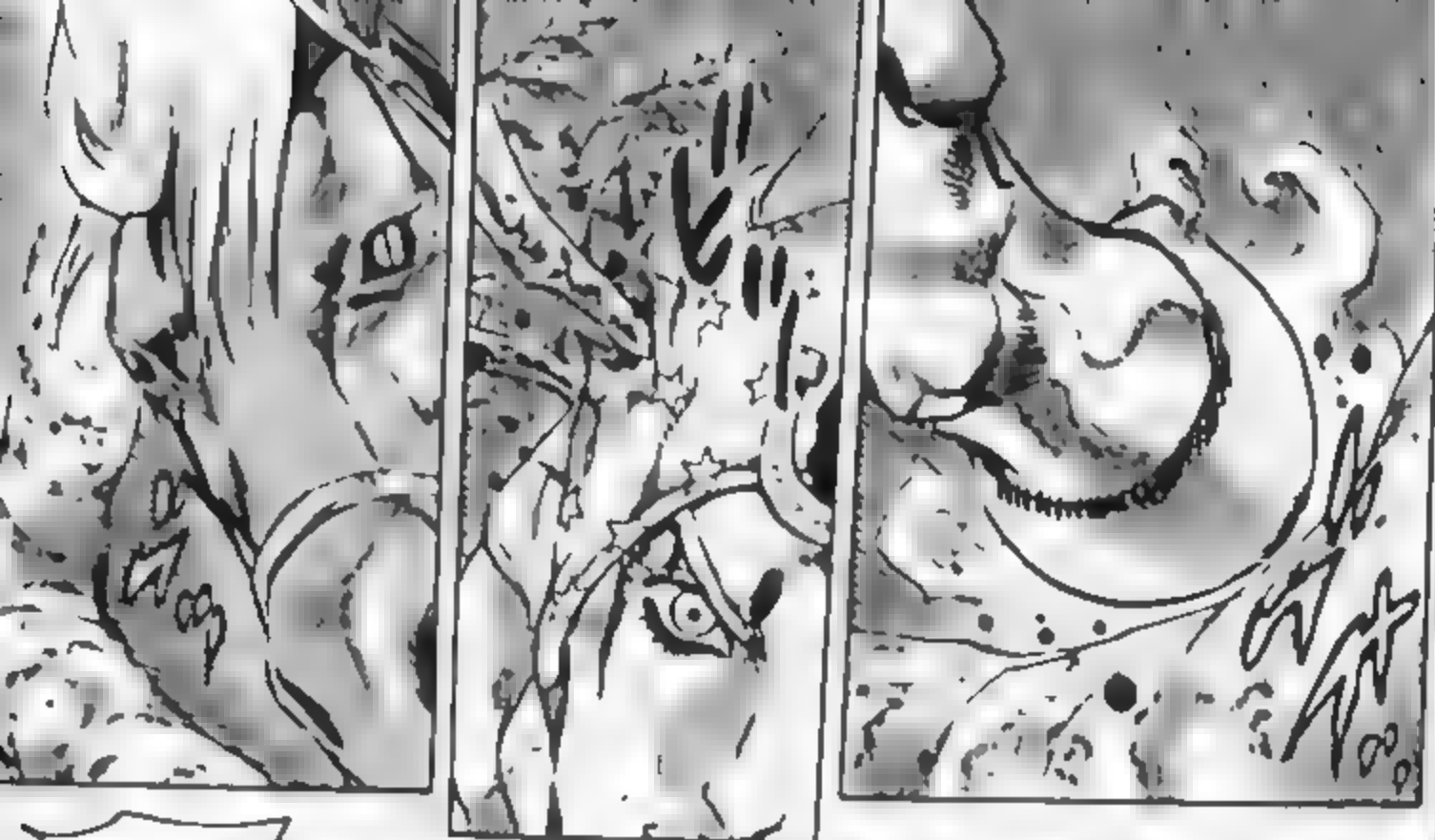
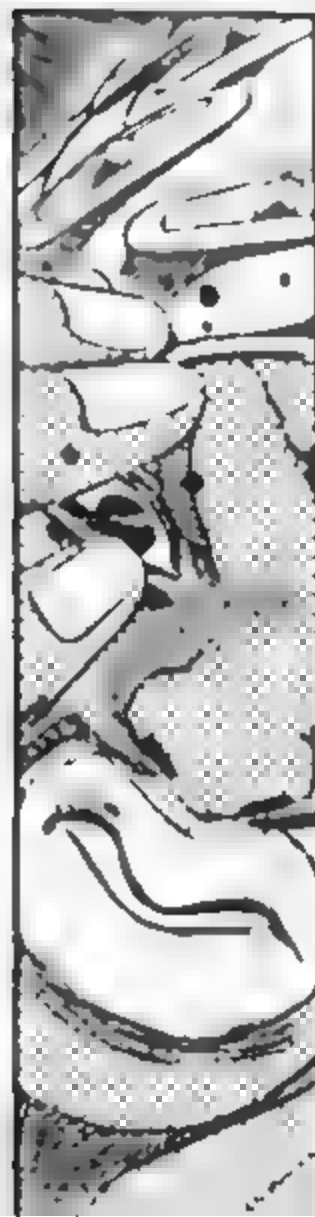
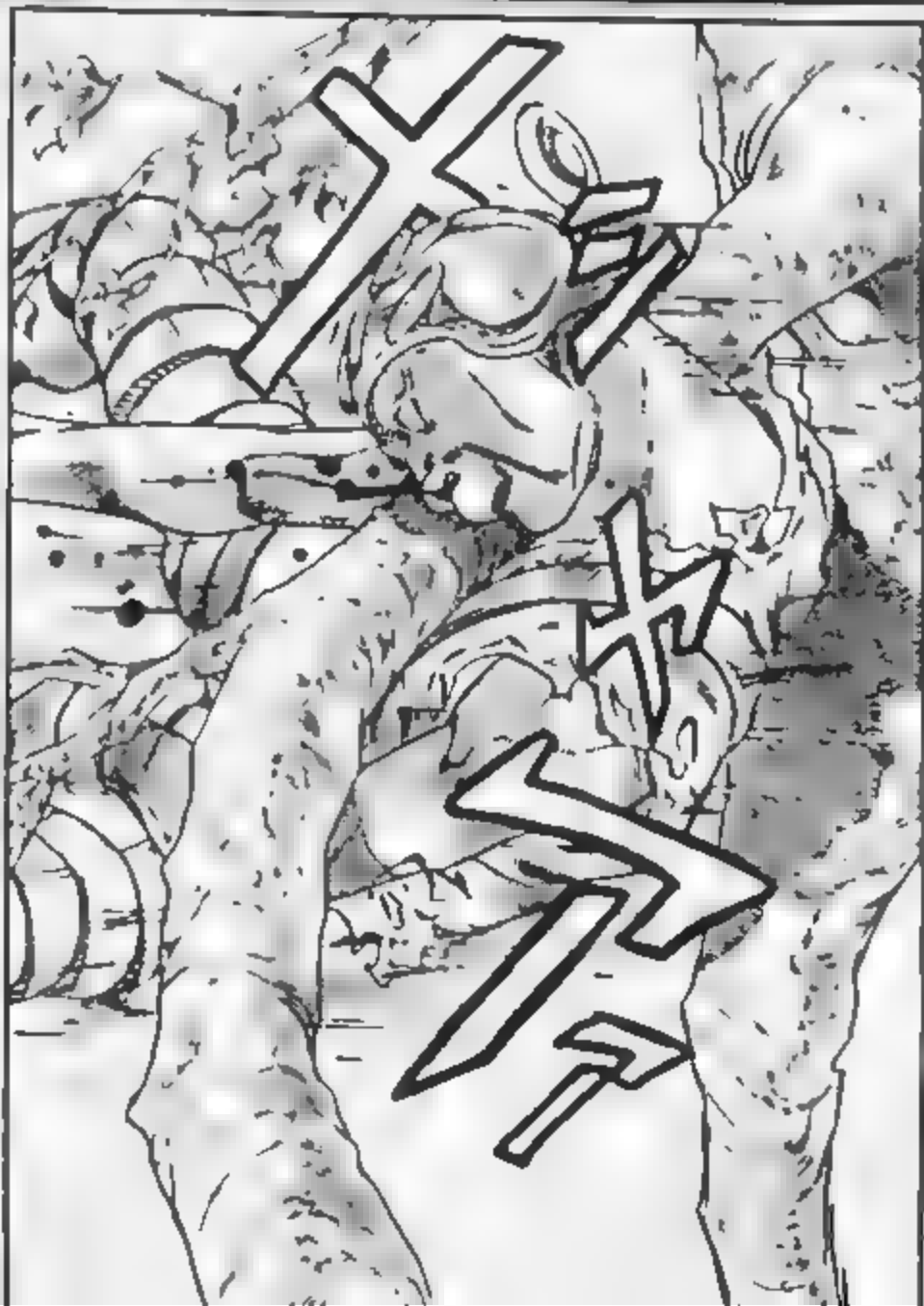
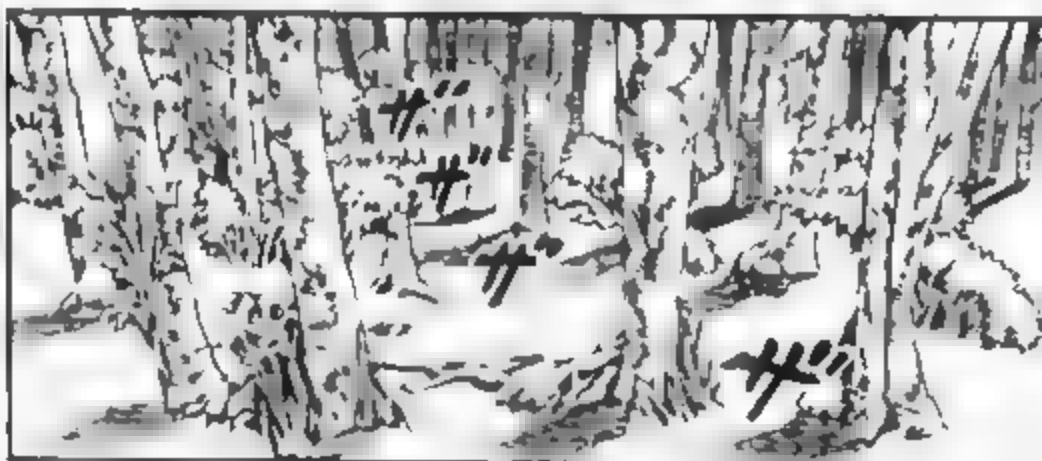
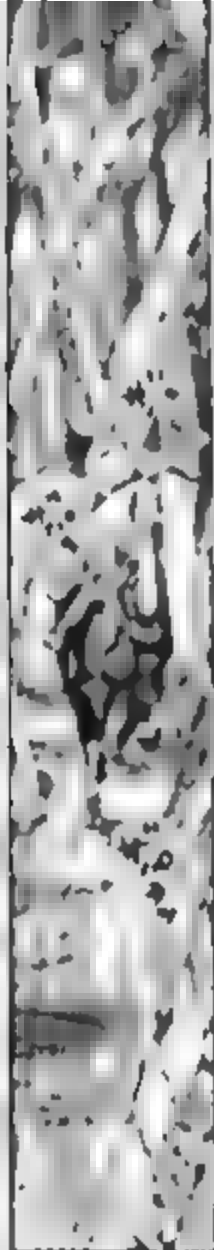
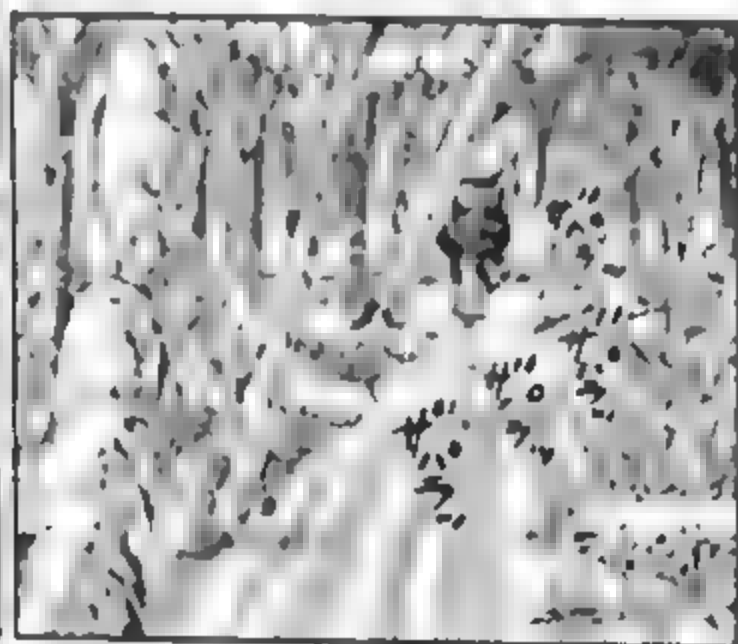
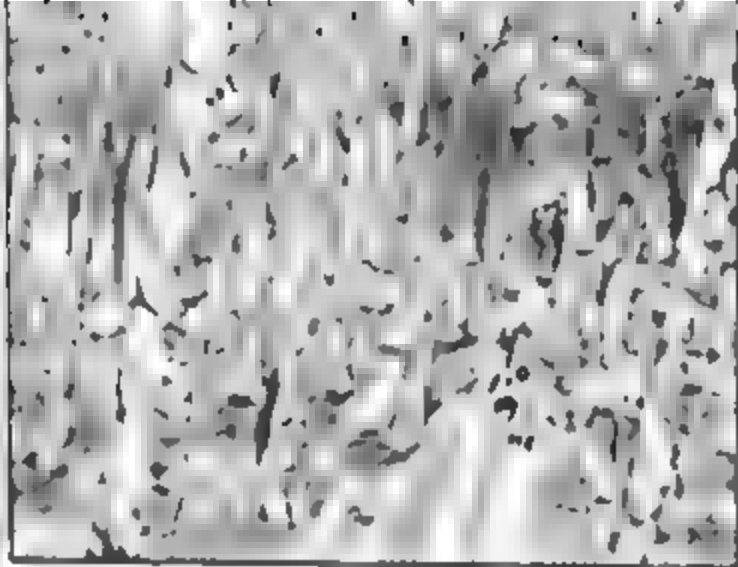
ドッ ドドッ ドドドッ

なんだとおお〜〜〜
正気か!?
『ジャイロ・ツェペリ』!
かなりの確率で
馬だけでなく
乗り手まで大ケガを
するぞ〃
しかも速度も落ちるなんて
もんじゃあない
馬がおびえて走るのを
拒否する事もあるッ〃
2頭行ったああ——
後続2頭
ジャイロを
追ったああ——ッ

後続がさらにッ続くううう――ッ
ジャイロの賭けに乗っかる気だあああああ――ッ!!
ドドド
ドドド
ドドド

ジャイロ 森の中へ姿を消したぁ━━━ッ

「目をつぶっているぞ」
目を……薄くも開けていない……
しかも
おびえてるわけでもなく
なに考えてるんだ!?
こいつ馬を加速させた――ッ
先に突っ込むのはゼッケン『777』だアア―――ッ

オレは
ラッキー・ガイだぜッ!
UH!
OHHH!
#8 雑木林越え
目をつぶったって
木の枝に
はじかれる
もんかよォッ!
なにやったって
ブチあたる
もんかよォオオ
オオオオオ

#8 雑木林越え
3600の後続馬が
二手に分かれています!!
ジャイロ・ツェペリの
約1,000メートル
どちらのルートが
ドドドドドドドドドドドド

くそっ！どこだ!? ジャイロはどこだ!?
ジャイロの姿が見えないッ！
これ以上ここで彼に距離をあけられるわけにはいかないッ！
うおおおおおおおおおお
フハハハハハハハ

どわ――っ

こいつ…
目をつぶってるのに……
ゴゴゴゴ

目をつぶっているのに
まだ
どんどん加速
しているッ!!

目をつぶって
頭蓋内は
100%馬自身に
まかせた方が
あれこれ策を
弄するより安全!
……と考えたわけか
……!?

確かに
……

障害物に対する
「乗り手の勇気」は
馬に恐怖として
伝わる……

だがッ!!

だが
そんな甘い考えで
このレースに
勝てるのかッ!!

ジャイロとて
限界ギリギリで
走っているに
違いない
からだッ！

追い抜いたッ！
ドドドド
うあっ!!!
ババ
うぐっ

えッ!!
ぐっ
う
うそっ……
そ……そんな

ドバババッ
ゲフッ
やっぱりな…………
つまらん
ただの
薄っぺらな
ハッタリ屋だったか

!!

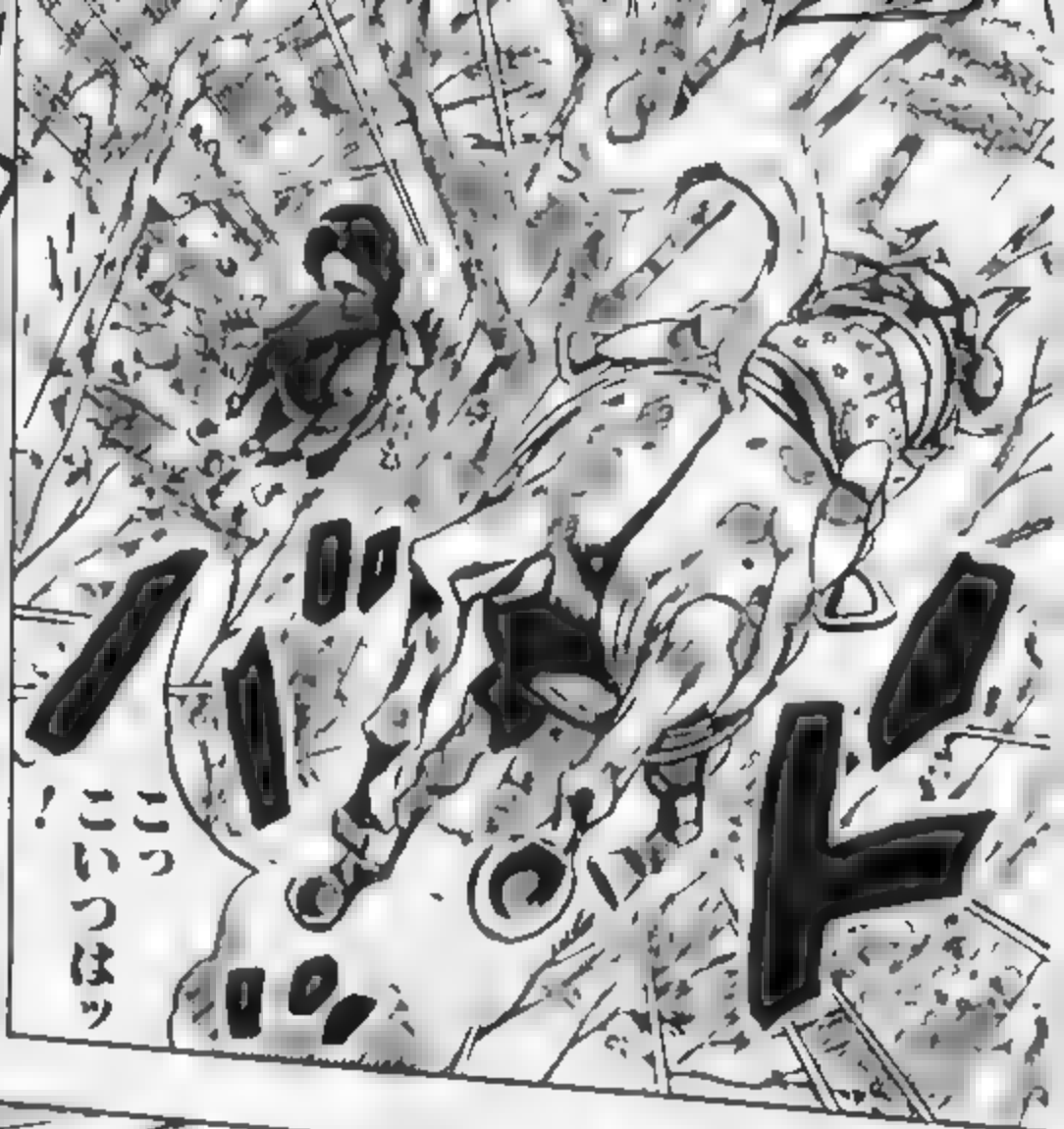
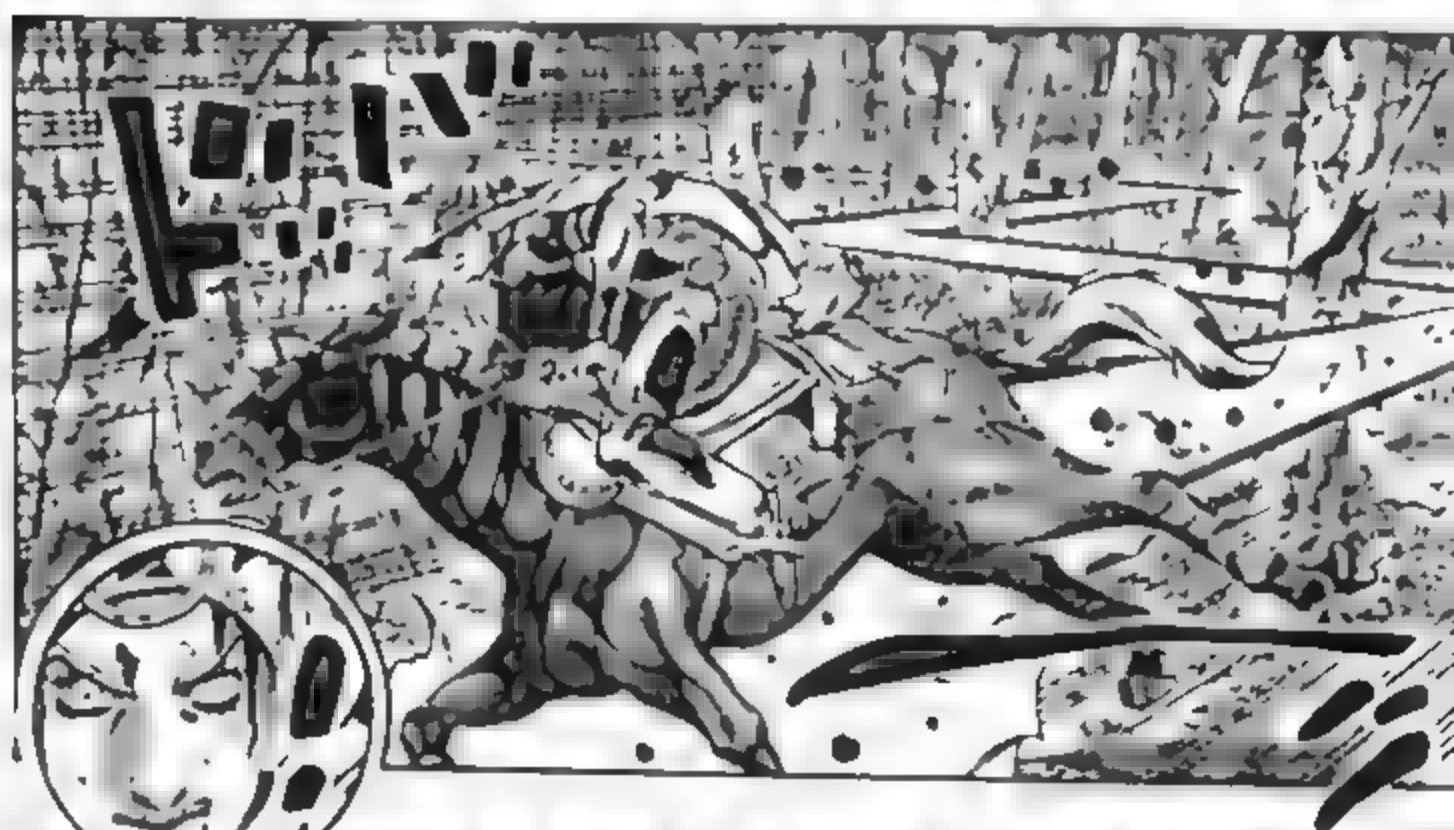
気のせいかよ……

何かが来る気配がしたが……

いや……!!

騎馬か……
乗り手は落馬したかよ

うおおおおおおおおおおおおお

こっこいつはッ!
くそっ
枝のスキ間を一直線にッ!
追いつけないッ!どんどんやつに離されていくッ
うおわあああああああ

あれはッ!ジャイロだッ!!

木をかわしながらあそこを走るのはジャイロだッ!!

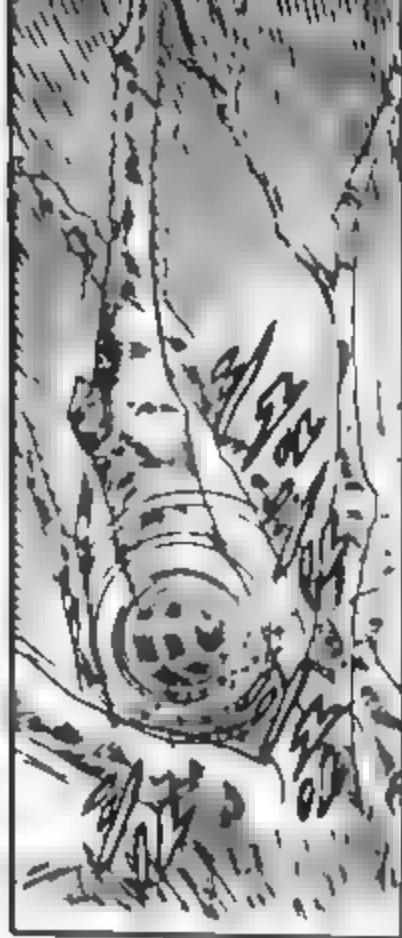
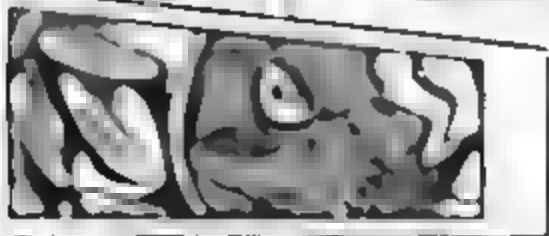
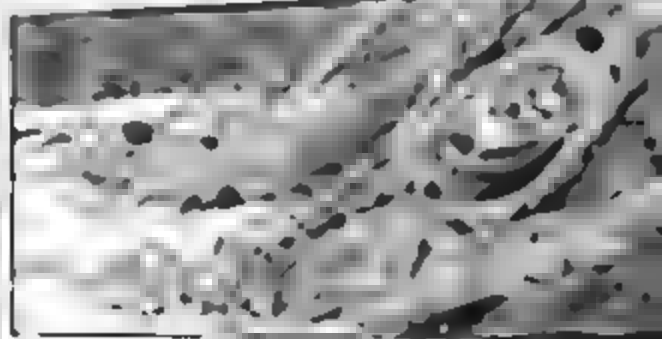
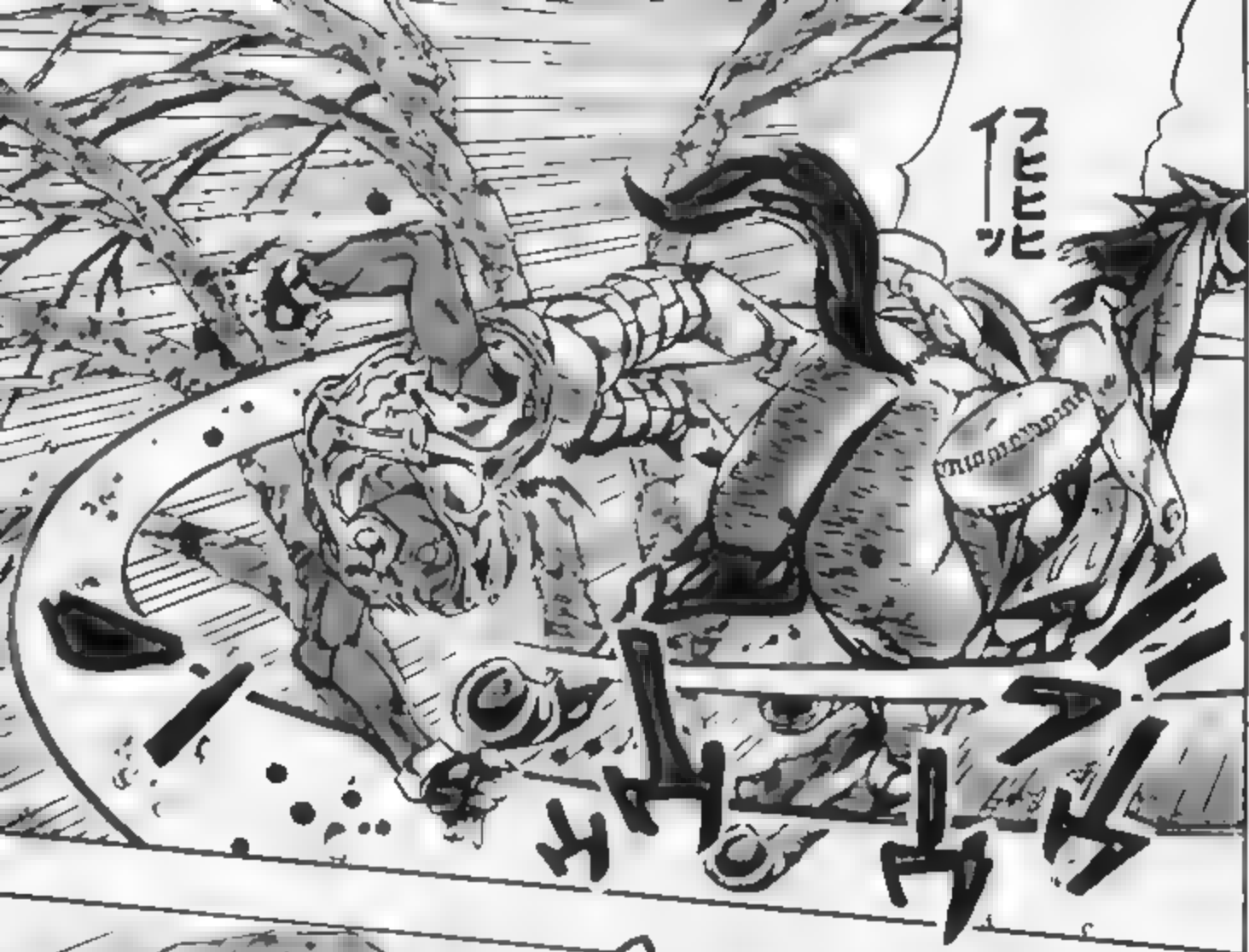
あいつがジャイロにどんどんせまっていってるぞッ!

はっ
速いッ♪
速いぞッ♪
ラッキー
なのはッ♪
やっぱり
オレは
ラッキー
だったんだ!!
幸運だったあ
ああ——ッ
このままだと
この森の中で あいつ
……ジャイロを
追い越すかもしれない
ぞッ!
これは偶然の
ハプニングなのか!!
…それとも まさかッ
……
まさか あいつッ!
計算で あの行動を
とっているというのかッ!

なんだ……あいつ
しゃあねえッ!
オレも木をかわしてる場合じゃあなさそうだ

ドカッ
ガッ
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル

閉じたッ!!

イヒヒヒーッ
ぐえッ!
うおおおおおあ

おおお〜〜っとッ!
1頭抜けて出て来たあぁ!!
来たッ!来たッ!
ドドドドド
森を1頭抜けて来ましたッ!
ジャイロだッ!ジャイロだッ
ドドドド
やはりジャイロ・ツェペリが独走状態のまま抜け出て来ましたッ!!
ドドド
成功ですッ!ショート・カット成功ですッ!
正規のルートを走る集団からおよそ800メートルは差をつけて抜け出て来ま…
もう1頭いるぞッ!
なにイイイ――――ッ
ドドドドドドド
もう1頭森を抜け出て来ているぞッ!
せまっているッ!
ドドドドド
ジャイロにせまっている5馬身ッ!
いや3馬身だッ!

これは
どういう事だあ
ーーーッ
ドド
何者だッ！
あれは何者だッ！
ドドド
ドド
ドド
独走状態だった
シャイロ・ツェペリが
森を抜けたら
およそ3馬身と
せまられてるぞオオ
〜〜〜〜ッ

本物だぞッ！
やはりオレは本物のラッキー・ガイだったぞッ！
UH
HOHHHHH
鞍の上にもどれたぞオ〜〜〜ッ！
どういう事だ!?……こいつはなんなのだ!?
なにかの「能力」でなくては……こんな事は出来ないッ！
残り4,000の看板が出たあああ

ドドドドドドド
ドドドドド
さあ〜〜〜〜〜すでに先頭集団は最終決戦の始まりリッ！ゴールまでの残り4,000メートルッ！
悪魔の『下り坂』を迎えていますすッ！
主導権は依然ジャイロ・ツェペリッッ！
#9 長い長い下り坂

「下り坂」
「下り坂」
スピードを落として

おっと!!
ここで飛び出す者もいますが
走りはおさえなくてはなりません!!
ドド
ここはペースを
なりませんッ!!
ドド
ドドドド

例外はありませんッ!

井戸の水を
飲みほしてしまう
ように…

ここまで走って来た
11,000メートルの
エネルギー全てを
無駄な力と
化してしまうのです!!

ここは・・・・
どうこらえるかが
最大の勝負
どころだあああ――ッ

やれやれだぜ……
だが気にするな………オレは構えにミスはなかったぜが
後ろの野郎が何者で……なんでヤツに近づかれたのか知らねえが

おまえさんは背後を気にする事ぁねえ
ここはゆっくり力をためるんだ………
トップさえキープしてりゃあいい
あそこの鳳場すぎたらよォ――

おもいっきし爆発の走りさせてやっからよオオオオオオ

おさえられない者かいるッ！

飛び出て来ましたッ!!
先頭にせまるッ！

ジャイロと現在2位ゼッケン777にせまっていくッ!!

YOI-YOI-YOHHHH——ッ

あせんなよ！

オレは50億分の1のラッキー・ガイだぜ!!

あの農場を越えたらよォ——
なにやったっていいんだぜェーッ

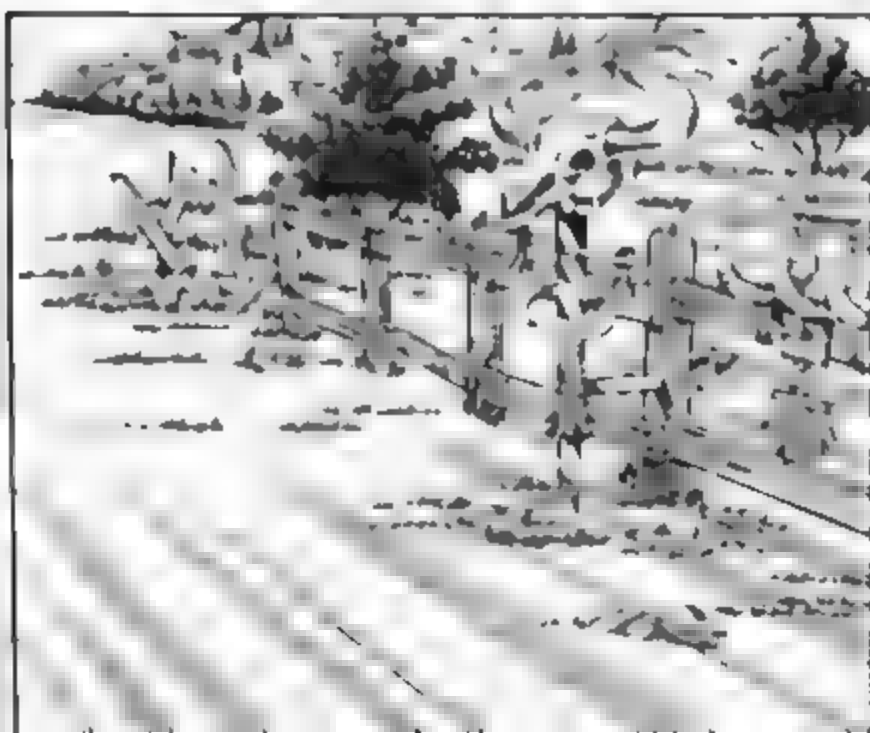
それまではこらえろよォ
羽はすな！

力をためて……
充電してから
なんでもやってやるぜェ

ドドドドド

「ポロロ」!!
ボイコット
戦ってンだァ
「牛」がいるぜッ!
「ポロロ」
「牛」ダカラナッ!

グル…

何やったって
イインたろう
……!?
ここで

なんだアァ〜〜〜!?
変なもの見えた……
雑木林の落下でオレ!頭打ったか?
今のはよオオオ……
「幻覚」か?……オ…オレ……

そう…
オマエの「幻覚さん」かもなああ〜〜〜っ
ダガもう……ソノ気ナンダロ?

自分は50億分の1の男に間違いはネェってな…
行ケッテ!
下り坂がどーたっていうんだ?行きゃあイインだよッ!信シロッ!
オマエはラッキー ガイだ!運をおさえててヤツに勝てるのかあ〜〜〜?
今までたってそうだったんだろ?オマエは絶対に勝つッ!

はっ……

ドド

YO！あんたああ〜〜〜
トップのあんたッ！
その程度かよッ……!!
宣言するぜ
オレに一度抜かれたら……

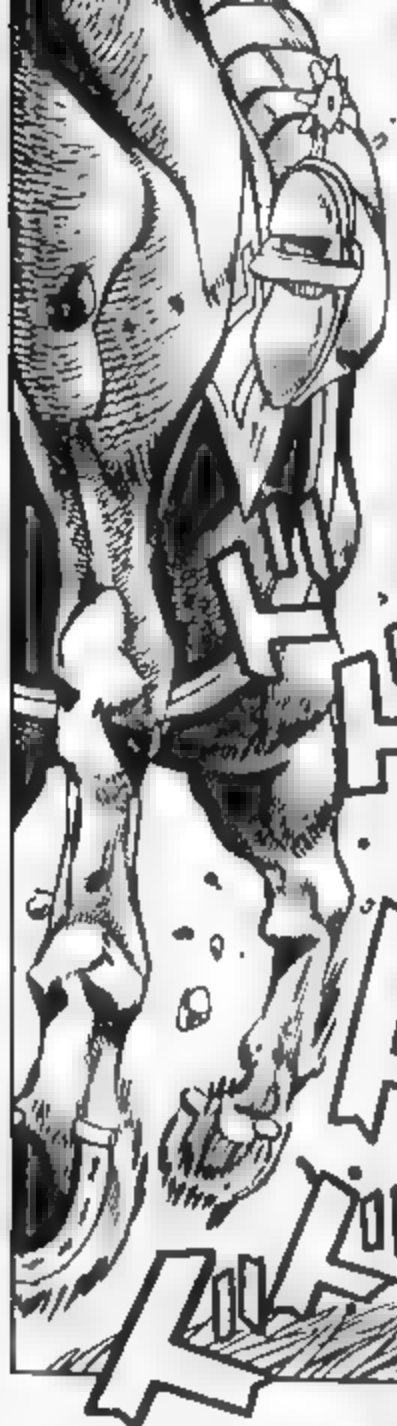
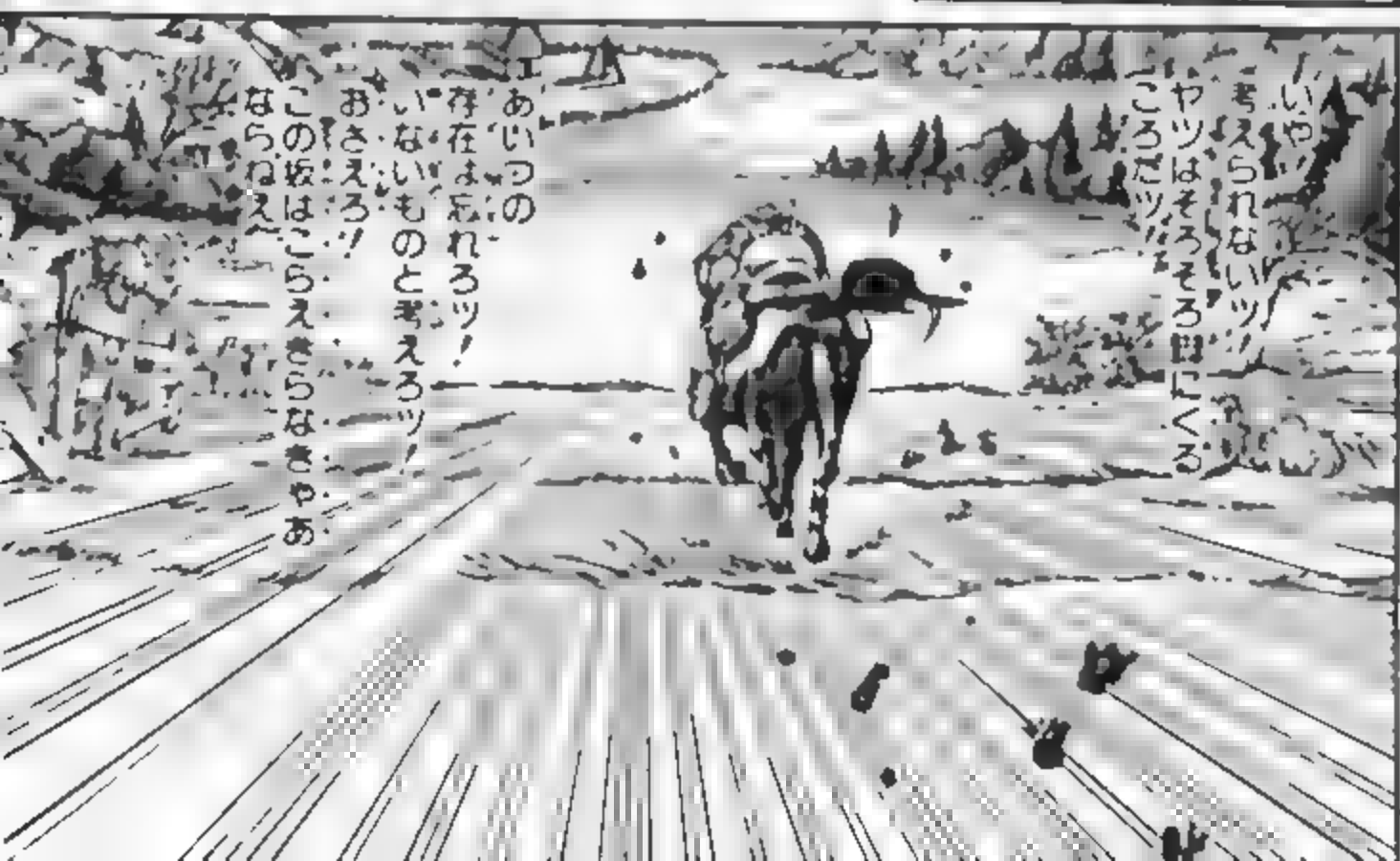
ドドドドッ
なんだああああ——— ゼッケン「777」が飛び出したあ———ッ
オオオ
名前はボーロロコ！ジョージア出身の21歳 ボコロフと登録されていますッ!!
ジャイロを抜いてトップにおどり出たッ！

ジャイロはおさえているッ！
後続にも加速し突っ込む者が出ているう――ッ

ジャイロはこらえていますッ!
惑わされるなッ!
あいつに引き込まれるなッ!
浅はかな決断にひきずられて
この坂で共に速度を出したら
待ちうけるのは
地獄への下り階段!
例外はないッ!
15馬身ッ
10馬身ッ!!
ジャイロにせまっていくッ!!

だが これは「愚か」だ！
「挑戦」というより あえて「愚か」といいましょうッ！ 「下り坂」に加速の作戦などありませんッ！
あのヒヅメの音は自分への葬送行進曲の作曲だあーーーッ
ドドドドドド
くそ……
だが もし……
たとえば あいつが……
『あいつが…… なにかの考えがあって この「下り坂」を わざとすっ飛ばしてると したなら……
「現に雑木林の中では あいつ……わざと 引きずられて木々の間を くぐり抜けた！」

ドドドドド

その時！

この坂でつけられた「差」！このジャイロの愛馬にゴールまでヤツを追い抜くチャンスが残っているか!?

いや 考えられないッ!! ヤツはそろそろ脚にくるころだッ!!

あいつの存在は忘れろッ! いないものと考えろッ! おさえろ!

この坂はこらえきらなきゃあならねえ

うわっ
転倒だッ！

2頭転倒だぁ――ッ
やはり！脚にくるッ――！
この『下り坂』を見誤ると確実につぶれるぞォ――ッ

ボコロコ
つんのめったああーッ
ボコロコ!!
ボコロコやはり
脚にきてるッ!!
崩れる
オレたちは
なに!?

え？
ドドドドド
転倒だッ!!
転倒だッ!!
ボコロコ崩れたッ!!
ボコロコやはり
愚かだったおーッ

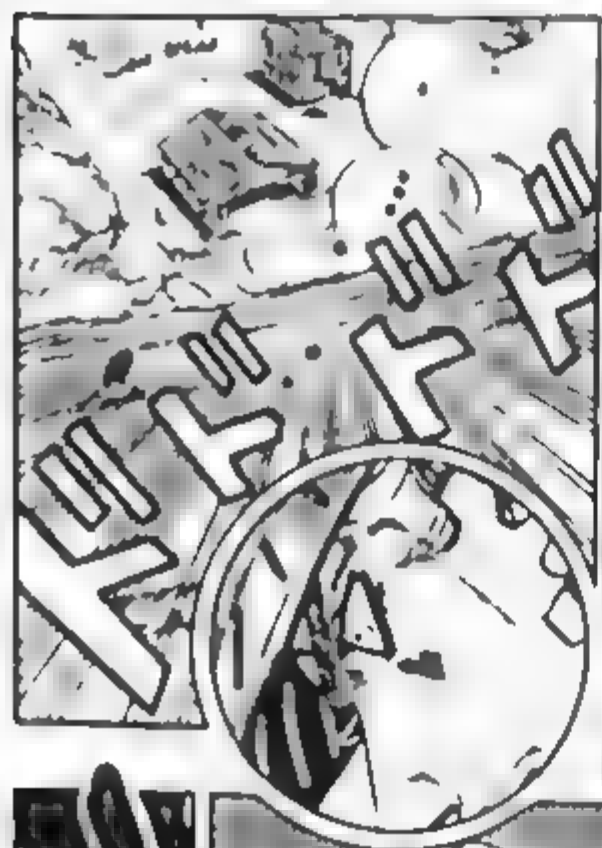
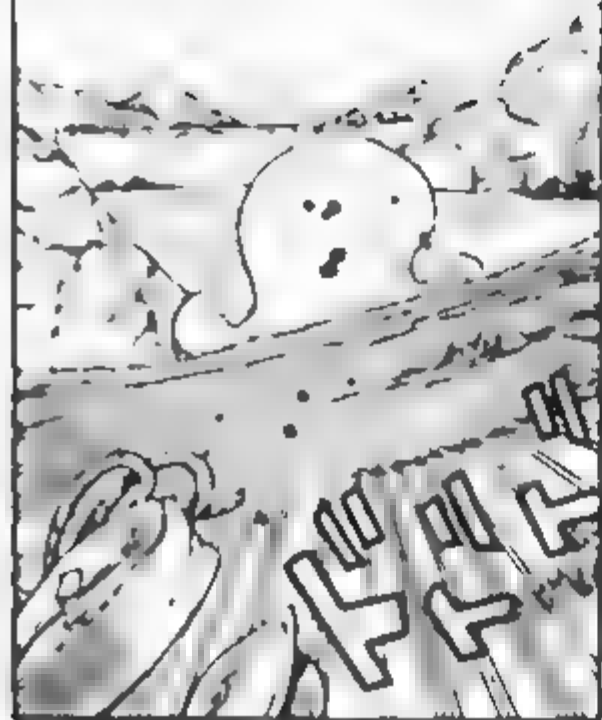
予定どおりジャイロがトップに立ち農場へ降りて行きますッ
ドドドド

どういう事だ あいつッ!

動いているぞ……!

……!?

いや!確かに 転倒し… はずだ!

ボ!ボコロコが 無事だッ! 転倒していないッ!

こ…こいつはッ!?
このフザけた事態は…なんなんだ…!!?
こいつ「計算」だッ!もう間違いないッ!
もうこいつの行動は偶然とかマヌケとかじゃあないッ!
あらかじめ「知っていなくちゃあ」こんな事は誰にも出来ないッ!このレースの「敵」はこいつだッ!
「おそるべき野郎」だッ!

「死体だアーーッ」!!…
なぜか「牛の死体」が牧草の中に落ちていたあああーーッ

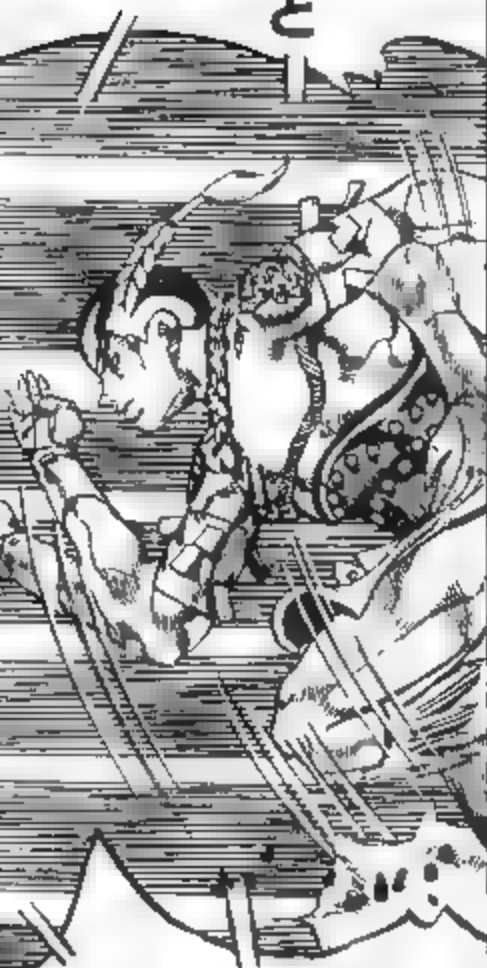
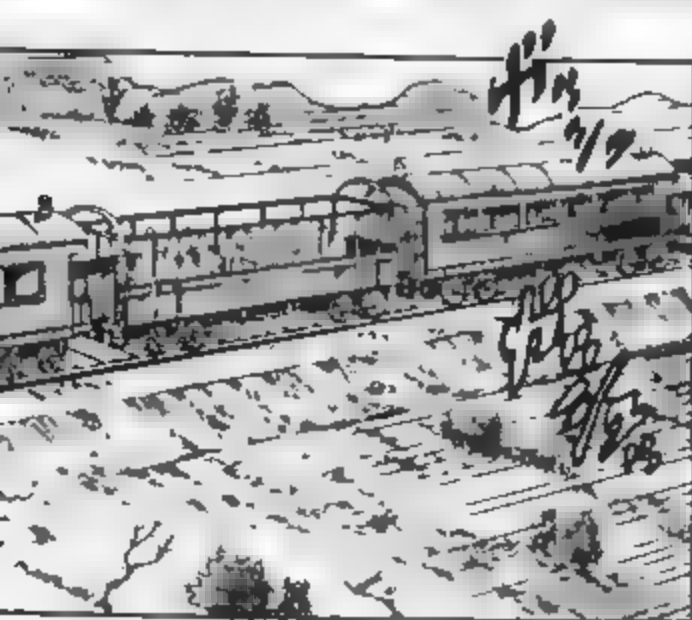
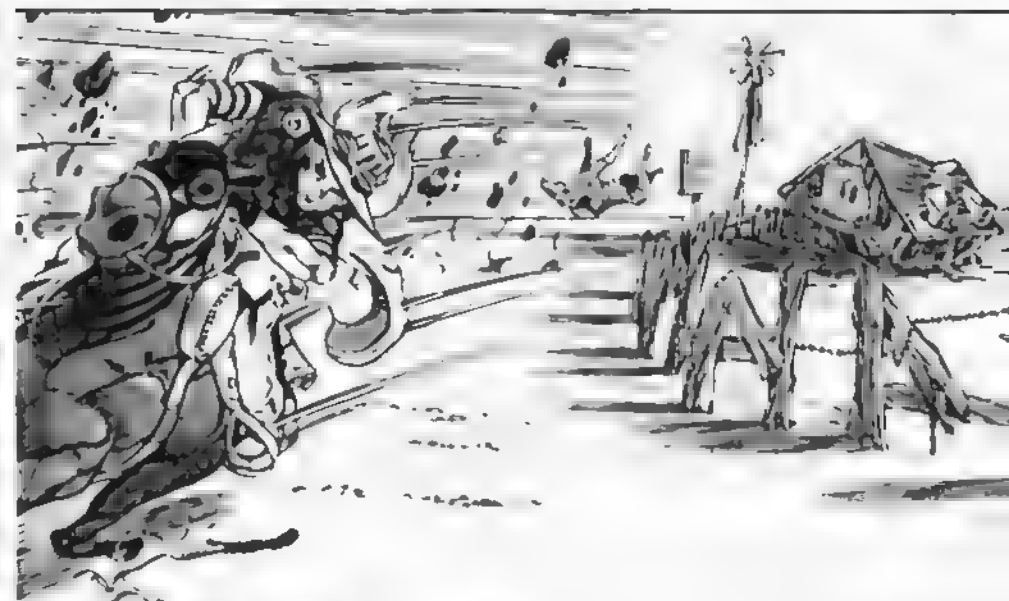
驚きだよオオ YEEEEE HAHAHHHッ！
幻覚じゃあねえッ！
オッタマゲエエ だぜエーーッ
まずいぜッ!!
こいつは まずいぜエ〜〜〜〜ッ!! 脚を止めているッ！ 100㍍馬が休んでいるッ!!
このままでは 農場を越えた時ッ！ ヤツの馬は脚を温存したまま 平地の直線に 向かうことになるッ！

ドドドド
ドド
ルールブックはとういうか知らねえが
このレースは馬に乗るレースだッ！
「牛の死体」に乗り換えちゃあいけねえぜッ！

ゴロロロ
あの岩のころがりで「牛」の猛進を止めてもらうことにするかよ！
ガッ！

グラ
グラ
グラ
うっ
ううっ
!!
ピクッ
……
なにッ!?

ムッ！……
ゴロ
ゴロ
何者でしょうかッ!?
あの人物はッ！
ランニングだッ!!
自らの脚で坂を
かけ降りて行きますッ！
だ……
誰だ!?
なんで
人がいる!?
なんてこった
岩の落下が
遅れたッ！

乱入ですッ!!
速いッ!
速いぞッ!
どこのルートを
通って来たのでしょうかッ!
「サンドマン」!
「サンドマン」!
名前は『サンドマン』と
大会に登録されて
いますッ!
超波乱です!
予測不能ッ!
1位はサンドマンで
最終直線
突入だあ――ッ

#10 最終直線 残り2,000メートル

#10 最終直線 残り2,000メートル

サンドマンが行ったッ！
サンドマンッ！
首位はサンドマンッ！
岩山をショートカット
だあああああ――――ッ

まもなく「下り坂」が終わり
ゴールまでの最終直線が
見えてくるぞッ！
走行タイムもスタートしてから
すでに17分を
すぎているーーーッ!!
ゴール

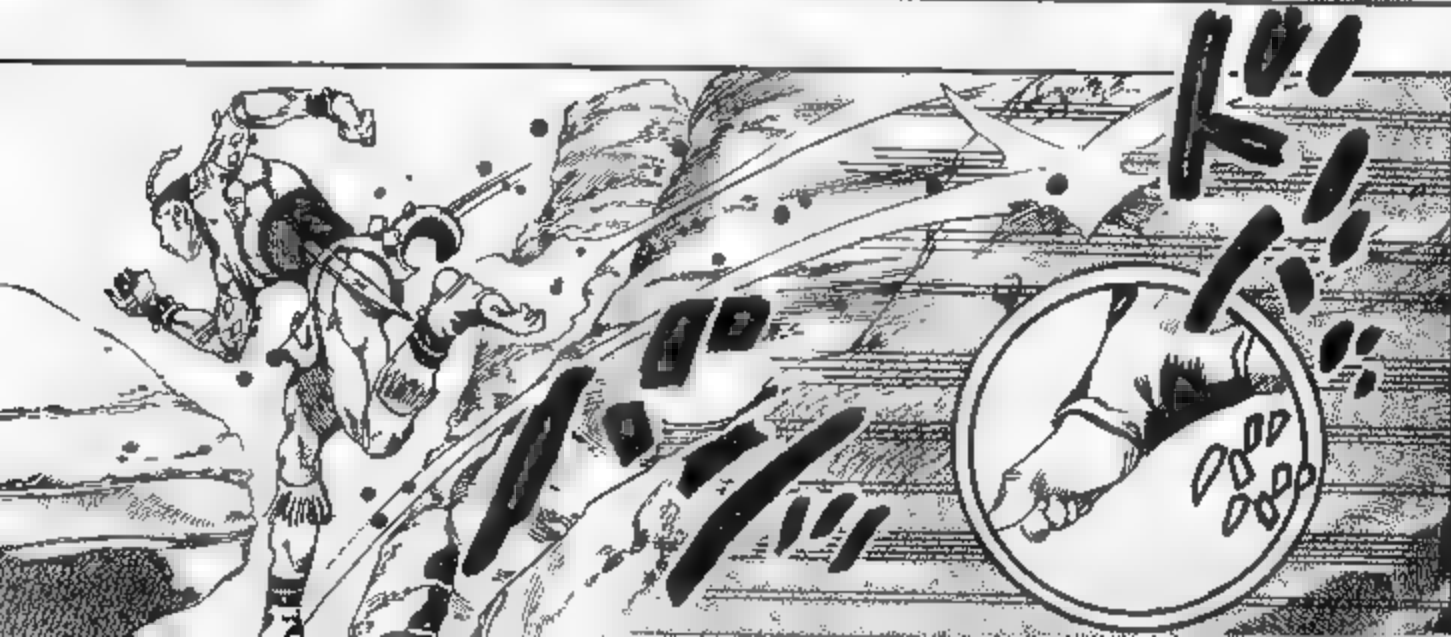
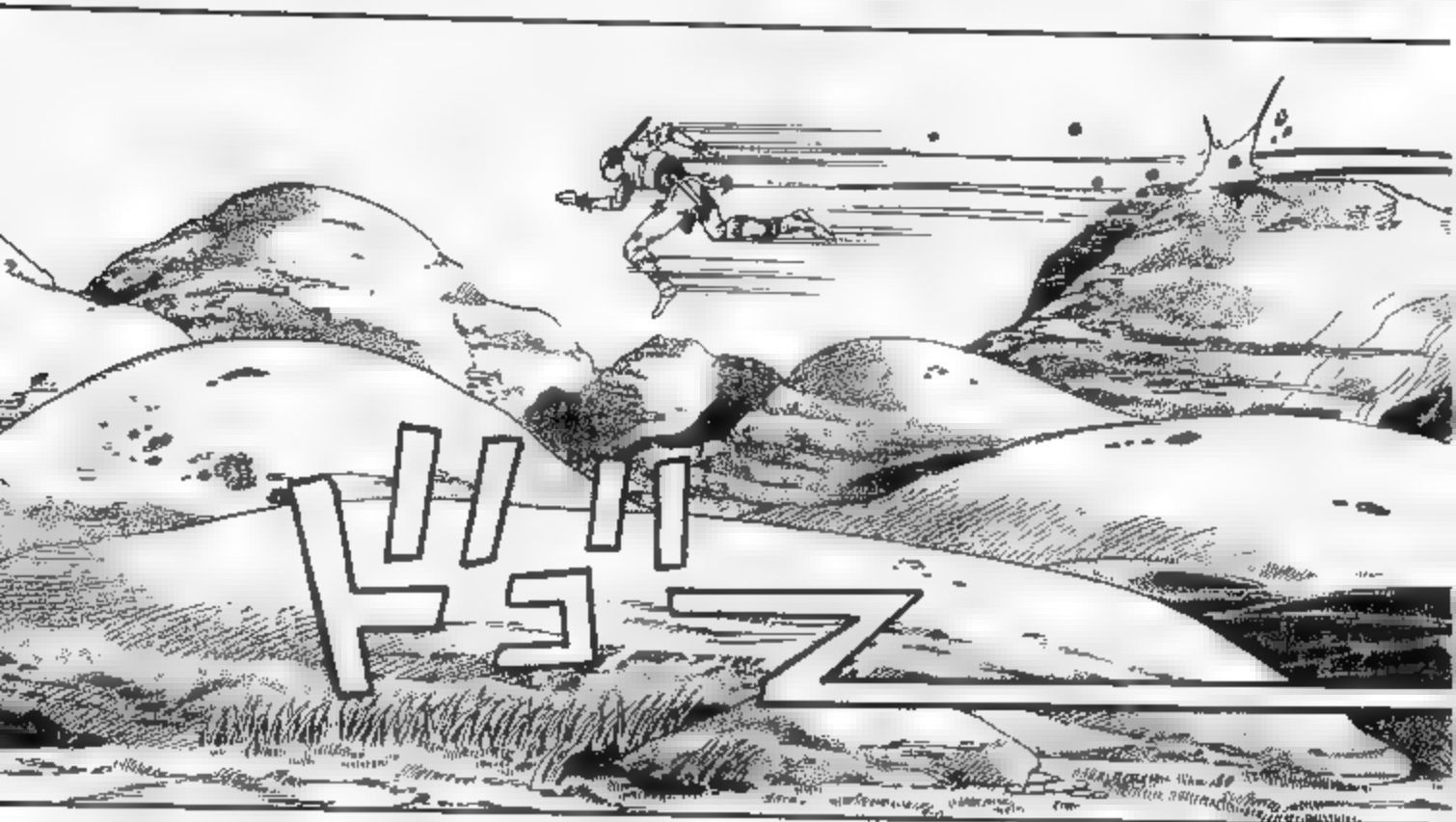
「人間が馬より速く走る」……

たしかにそんな事はありえない

平たんな競馬場のトラックの常識ではな

だがあれを見れば納得……時速30キロは出てるぞ

？30……

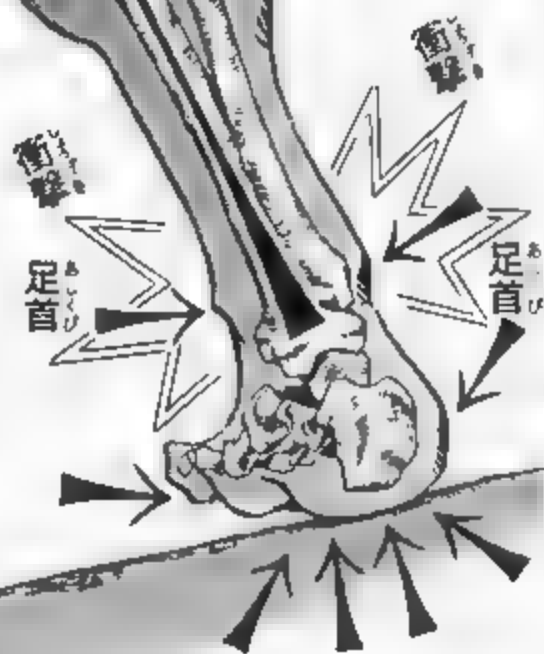
いや時には40キロは出ているか……
ちょっと待ってくださいスティールさん
時速40キロってまさか…
あのサンドマンのスピードのことですか?
何言ってるんです?100メートルを10秒で走って時速36キロですよ!
そんな記録はどこの陸上競技にもない!
長距離マラソンを2時間で走ってさえ時速21キロだッ!

いいか
解説してやるよ
時速40キロを出せる
走り方があると
いう事をな……

人間が
走る時にはだ……

衝撃
ヒザ
ヒザ
衝撃
衝撃
足首
足首

足が地面を蹴る
「衝撃」ってのがあるだろ…
その「衝撃のエネルギー」が
ヒザの関節や筋肉に
負担となって疲労となる

その負担は
どんな強じんな
脚力をもってしても
逃れる事の出来ない
生理機能！

だがあの「サンドマン」の場合はこうだ……
「サンドマン」の足
衝撃の流れ
彼は走る時に「かかと」が地面に一瞬しか触れない……
地面へ
そういう走り方なんだ!!
「かかと」が触れたとしても決して踏み込んではいない!
衝撃エネルギー
すぐに「着地の衝撃」はつま先に移動する……
そして瞬間!その移動の「衝撃」を利用して地面を蹴って前へ進む!
どういう事かわかるかね?
着地の「衝撃のエネルギー」をヒザ方向ではなく前方へ逃しているってことだ!
つまり彼の脚にはダメージや疲労はほとんどないって事であり……
むしろエネルギーを再利用して加速の時使えるって事だッ!

崖を蹴って飛べば飛ぶほどさらに加速がついて速いッ！

蹴ったッ！

45キロは出ているぞッ！

しかも着地時には崖面を何度か蹴って降りるので

ブレーキポイントNo.1

ブレーキポイントNo.2

ブレーキポイントNo.3

ブレーキポイントNo.4

重力のブレーキとなってこれまた衝撃ゼロ！

滞空するほど筋肉は休んでることになる

おそらく彼の足の「かかと」にはタコやスリヘリはなく少年の足のように柔らかいはずだ

おっと…自分もあの走りをマネしようなんて思うなよオ

体格の割には長い脚と一瞬で体重が移動できるスピードが必要だ

そんな「走り」

彼はどこで学んだのでしょう？

さあな

彼の生活環境の中から体得したというべきか…

今度は岩の登りだ！

手を使い
脚を使い
全身の筋肉を使って
まるで
カモシカか山猫のようだ

脚力だけに
負担をかけず
岩山ほど
彼は速い

この
スティール・ボール・
ランが「大陸」を
舞台とする限り
馬を敵にしても
その勝敗は
わからないと
いえるだろうッ！

サントマンの後！
現在2位はポコロコッ！
続くのはおよそ1馬身差で
ジャイロ・ツェペリッ！

ドドドドドドド

後続も「坂」を
下り終えたッ！
はるばる走って来たぞ
13,000メートルッ！
風もメキシコからの向い風！
「サンタアナ」が吹いてるぞッ！

どこで
誰が仕掛けるんだぁ――

……どういう事か
わからねえが
くそ……

この前を
行く野郎に
……

「下り坂」を
休まれちまった
残りは
1,000と数百…

[illegible]の上を
ショートカットする
ランニングマンの
乱入もあるが

この1st STAGE
最後の「敵」は
このとてつもなく
ネアカな野郎……

ただひとり
と
見るべきだ……

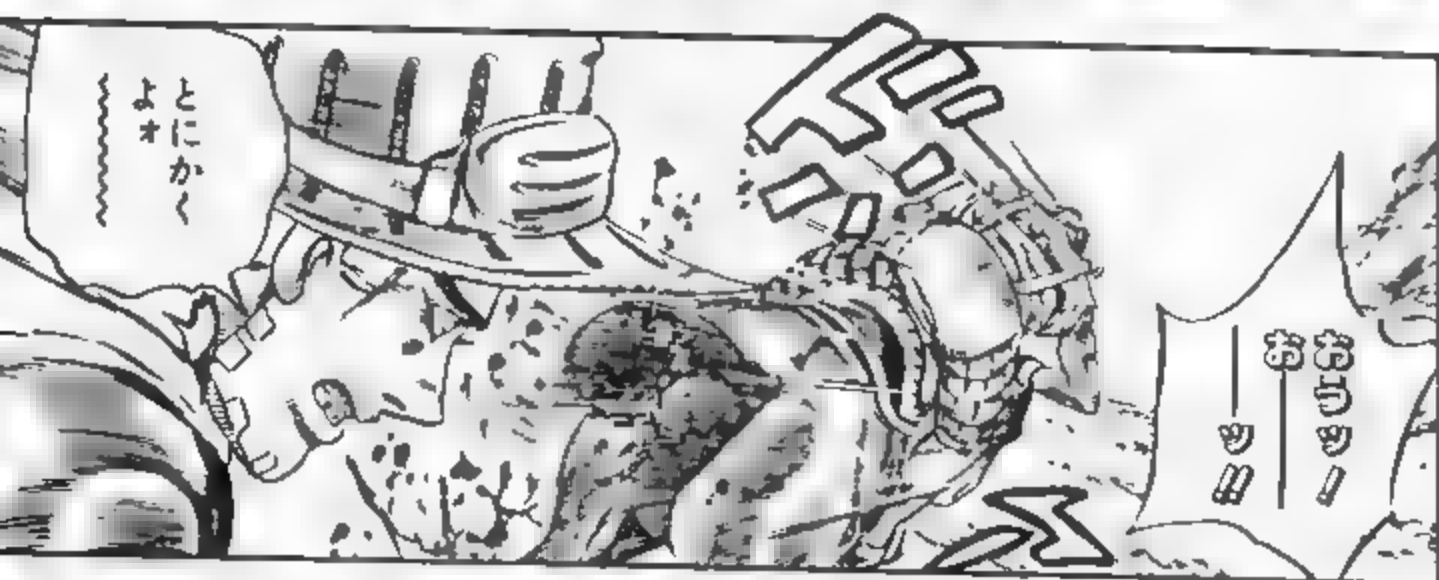
「雑木林」
「牛の死体」
「岩の停止」

偶然すぎる

「何か」が
こいつに味方を
している……

昔ギャンブル場で
ルーレットに
18回連続「赤」だけに
賭けて
勝ちまくったヤツを
見た事がある

イカサマでも
なんでもなく
バカツキ
だった

オレが全てから守ってやるからなあああ〜〜〜〜〜
行けッ！とにかく何やったっていいッ！
突っ走れェ!! おまえさんのゴールには幸運しか待っていねえんだぜ〜〜〜〜〜

出たッ！出たッ！
ジャイロがここでまた行ったアア———ッ
仕掛けているッ加速しているッ!!

だが
早すぎないかッ!
大丈夫なのかッ!!
1,500メートル以上
残っているッ!
そして
直線が
見えてくるぞオオオー
直線……
こ……
これは!?

ワーワーワーワー
ウオオオオオ

な……何事だあ～～～～～！？
この人数……
わしは聞いてないぞ、こんなに

すごいッ！
直線が見えたらすごい人の数だああ――――ッ!!
この西の果ての地にッ!!見捨てられた荒野の終わりの教会にッ！
1st.STAGEのゴールを見ようとこんなにも観客が集まっているとはッ！
GOAL
STEEL BALL RUN RACE
熱狂してますッ！1万人ッ！いや！2万人は確実に超えてるッ！開会式よりも何倍も多いッ！
予想外ッ！数えられませんッ！わたしにはとても何人いるか数える事は出来ませんッ！

ワーワー
だ…誰かが呼んだのか？
し…信じられん、わし自身も…
ヒーローになるわ
このレースの勝者は……この世のヒーローになるわッ！
なにもかも未知の道だ――ッ
『スティール・ボール・ラン』レースッ！
ドドド
ドド

よくぞ…ここまで走って来た

ドドドド

初老の馬よ……

おまえには今まで生きて来た経験がある

「荒れた路面」も

「雑木林越え」にも……

「下り坂」にもミスはなかった…

そしてかいてるこの「汗」の感じなら……

「行ける」ッ！……

しっかりと脚はためられてるぞッ

呼吸も闘争心満タ！
40〜50馬身い差は射程圏内だ!!
一ヵ月ほどは飛ばしすぎたァ! 今すバテる! そろそろ手まげきさせてやろうぜ シャイロン!のペリも!

あれは…！

まさか
信じられないッ!!
遅れてたはずだッ!!
彼はッ!

ディオだアアアーーーッ
ディオがいるッ あれはディエゴ・ブランドーだあああーーーッ
ここでキチッ！と追いついて来ている
どうやってここまで遅れをとり戻したのかッ！
いつの間にかしっかりと借金は払い終わっているッ！
ドギュウン
また1頭パスしたぞッ！
DIOが出るッ！
借金はおろか さらにこの大集団を抜け出ようとしているぞッ！
こいつ……
このテクニックは……!?
この方法で後方から追いついて来たのか……

『風圧シールド走法』だ!

ここまで来ている…!!

しかも正確な
脚同士の接触事故
が起こり

ム！

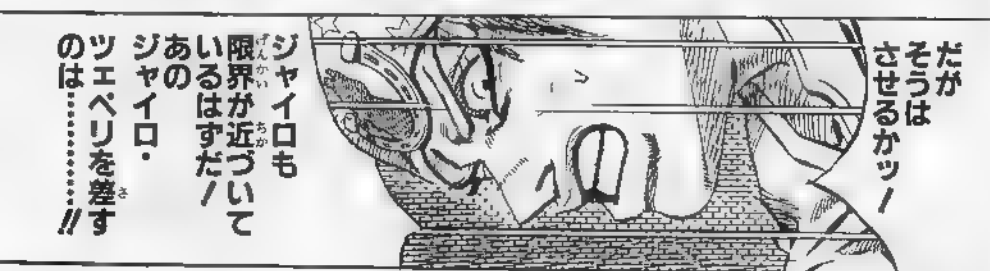
ついに後続の山脈が崩れて動いた!!
ジャイロ
ポコロコ
ジョニィ
ディオ
ドドオ
ゴゴ
スゴイッ行ったぞッ!
各馬とき放たれたッ!
先頭ジャイロに向って土石流となった山が襲いかかるぞォ――ッ

ドドド
ここで
ポコロコも
ジャイロに仕掛けたあ――ッ!
ダッ
ぜんぜん予定どおりな事には変わりがねえ……
最初っからな
たぶんだけど…

#11
最終直線
残り1,000メートル

ワァァァ
ジョニィ
ティオ
メキシコから吹く「サンタアナ」の風の中を崩れた『土石流』たちが一直線にゴールめざして襲いかかるゥウ!!
ドドド

ジャイロ
ポコロコ
ドドド
到着する機関車の音がまったく聞こえませんッ!
ドドドドド

くそっ……
このディエゴ・ブランドーとかいうイギリスの騎手!
引き離しても引き離してもオレの馬をさっきから風圧のシールドにしてまったく離れないッ!!
……このままこの風の中を
このオレにピッタリとゴールまで引っぱらせておいて直前に全馬を一気に抜き去るつもりだ……
だがそうはさせるかッ!
ジャイロも限界が近づいているはずだ!あのジャイロ・ツェペリを差すのは……!!
なにッ!
馬体が沈んだッ!?

このジョニィ・ジョースターだアーーッ
ううっ!!
うむっ

!!
こ……小石!
ガッ
ドッ

こいつッ！プロの騎手出身かッ！

「風圧シールド」をプロテクトされたッ！

伝統のイギリス競馬界の外にこんな技術を持つヤツがいるなんて

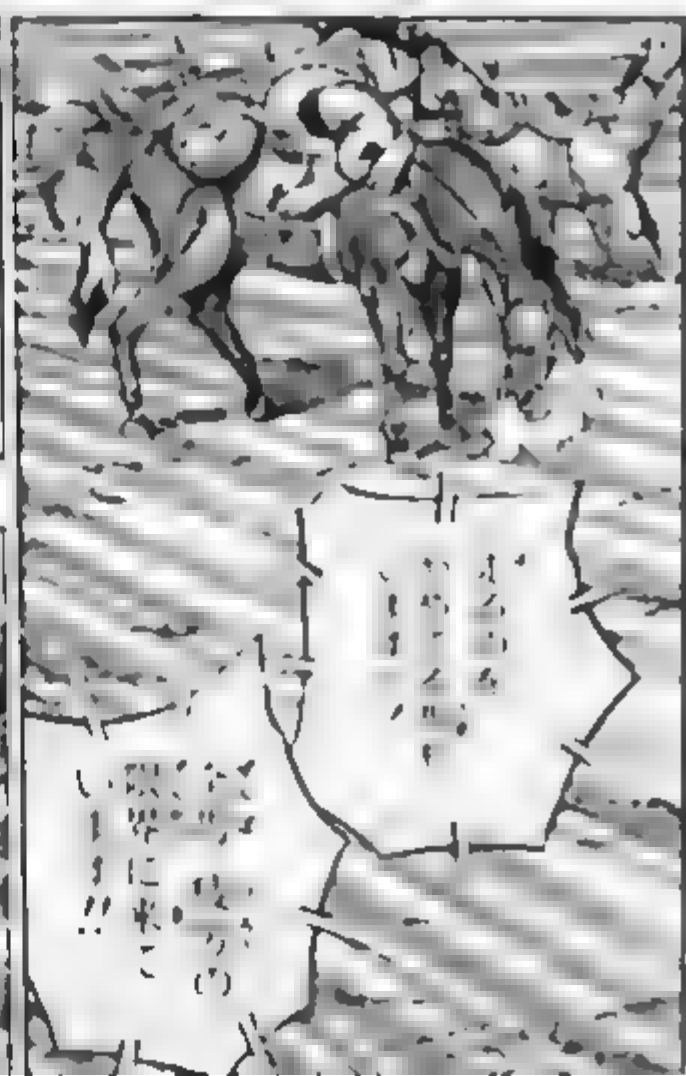
加速する時ついでに小石を巻き上げてぶつけてよこしたッ!!

おおっ——とここで転倒している馬がいるッ

転倒に巻き込まれるぞッ！

ドドドドド

よれてる馬もいるッ！よれるッ！

疲れていますッ!!
ここまで14,000メートル走って来たのですッ!
来たのですッ!

どうやら
ここから先は
もう……

「技術」なんて
使っても無駄な
ようだ……

…あるのは
「脚力」だけだ

ここに来るまで
どれだけ「脚力」を
温存して来た
か……!!

それだけだッ!!
残された「脚」
だけがッ!
勝者の条件と
なるッ!

おい
ポコロコさんよォ～～
左へ行ケッ！

え？……

なんで!?
!?
イイカラ「左」へ行くんだッ!!
ヤツの「左」へ回り込むんだ

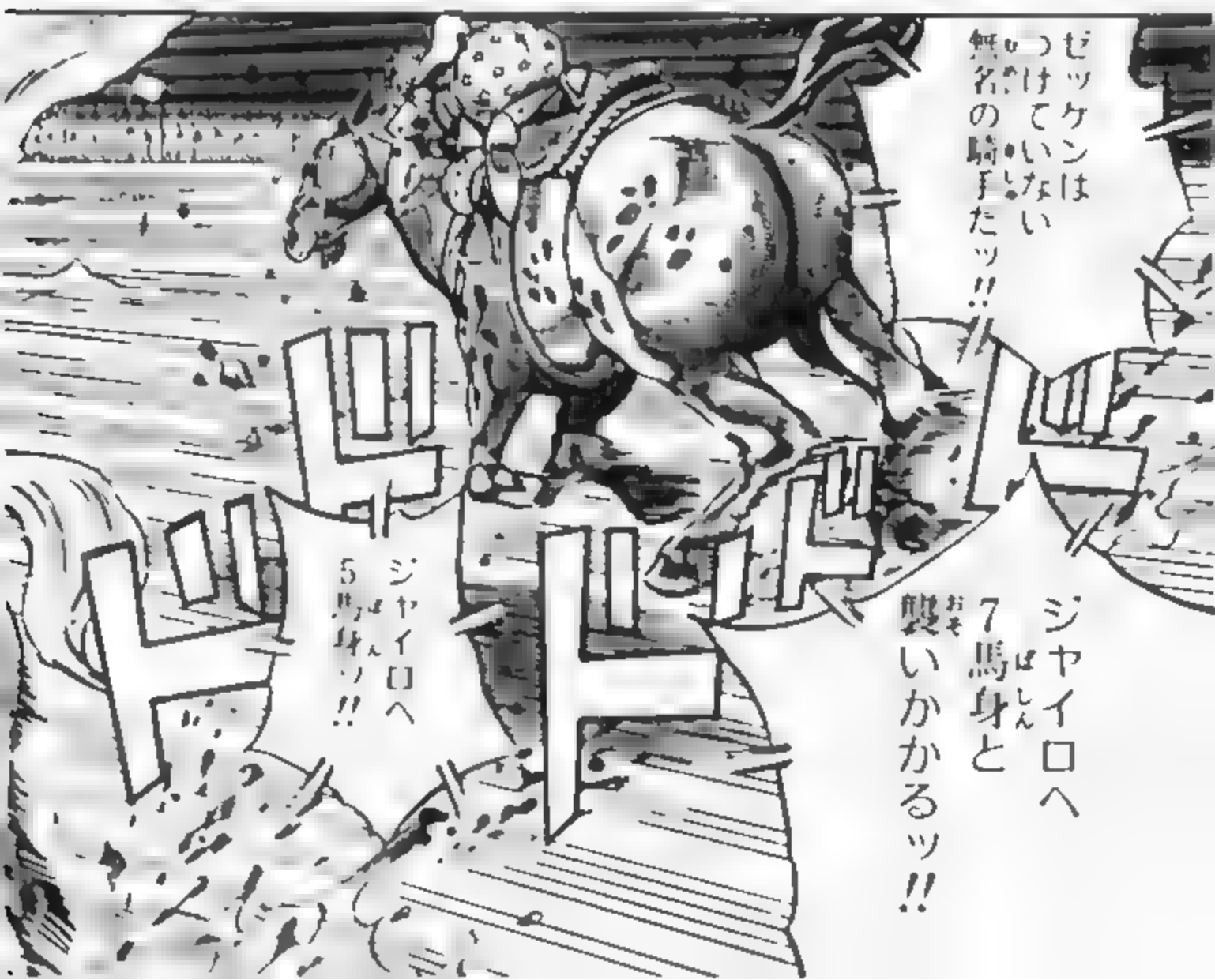
お……おうッ！
オレの馬も限界に来てるッ！
だがオレはラッキー・ガイだよなッ！オレは約束されてんだよなあ!!
なにやったってよオオオ
そうだぜポコロコッ！YO！YO！って言えッ！YOってよオーッ
YO！
YOオオオ――
YO！
……………

ここで
サンドマンが岩場を下って
合流だあああああああ

破裂しそうな筋肉でサンドマンが戻って来たッ！ジャイロの前だッ！前に合流だッ！
8馬身は離れてる!!
ゴールを目ざして合流成功オオオオーーーッ時速40キロは出てるぞッ!!
これが人間の走りなのかッ？
だがもうショートカットはないぞ!!
サンドマン！馬に対しゴールまでもつのかッ！逃げ切れるのかッ!!

およそ300ッ!

それともう1騎ッ
ディオと並んでいる者がいるッ!

いやディオよりも先に出ているぞッ!!

ゼッケンはつけていない無名の騎手だッ!!

ジャイロへ7馬身と襲いかかるッ!!

ジャイロへ5馬身ッ!!

ドドドド

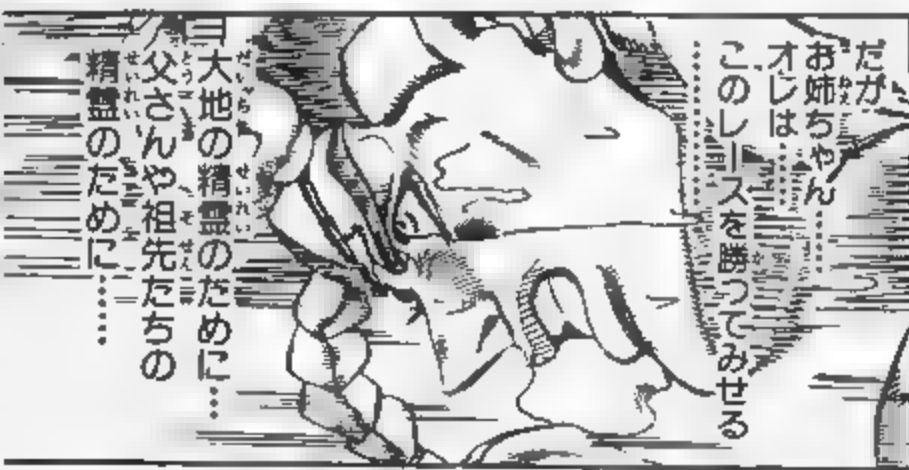
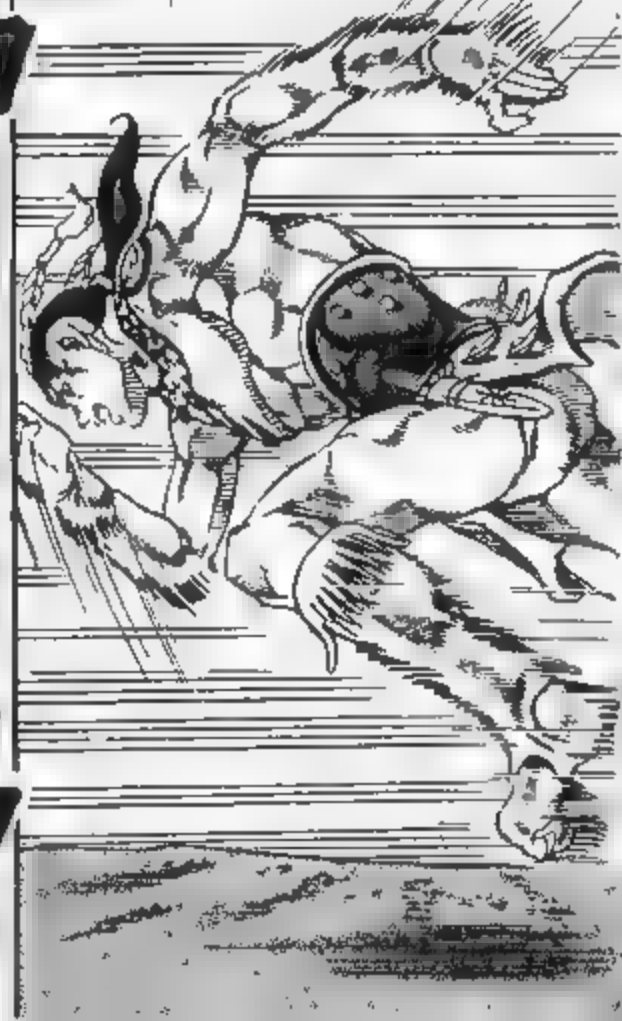
ド
ドド
シャイロサンデーが追ってこ
まったくハースは
落ちていないが
後続はさらに鬼気せまる
もの凄い追い込みだあ——

ポコロコ
左方向から
ジャイロを
差しにかかるッ!!

サンドマンを追って
4騎が
襲いかかるぞッ!

ドドドドド

ジャイロ！
サンドマンに
3馬身ッ！

並んだ!
並んだ
DIO
並んだッ!

並んだッ！
サンドマンを追って4騎が並んだあああ――ッ
オレにはもう帰る故郷はないんだ……
だが　お姉ちゃん……オレは……このレースを勝ってみせる
大地の精霊のために……父さんや祖先たちの精霊のために……
ドドドドドドド
みんなオレに力と勇気を与えてくれッ――

4騎の鼻が横一直線に並んだぁ——ッ

さらにサンドマンが加速した!!

誰が1位になるんだ!?

ゴール前のものすごい攻防となったぁ——ッ

残り100メートルになった!!
ディオが出るッ!
いや わずかにジャイロが出ているか!!
ドドドド
よし ポコロコ 躊躇スルなよ!!
コレデイイッ! おまえの勝ちだッ!
コノママ乗り上ゲロッ! 地面に枯れ木が埋まっているぞ!!

なんだ ボコロコ ジャンプ したあ ーーーッ
枯れ木だッ
枯れ木を 「飛び箱」の時のように 「ふみ台」として のりにけたああああ

ズバァ
出たッ！
抜け出た!!
抜け出……
え!?

違うや
ポコロコじゃあないッ！
抜けたのはポコロコじゃあないッ！
ゲ……
な…なんだこいつッ！
バカなッ！脚が残ってるはずがねえッ！
「下り坂」はオレの勝ちだった!!なんでこいつが出れるんだ!?
出れるはずがねえんだ！
直線でもこいつは飛ばしすぎていた!!

ジョニィ・ジョースター
たまげたよ
よくここまで追いついてきたな
ところで突然だがおまえさん
船に乗ったことあるか？オレは乗ったことがある
知ってるか？
帆船てのは海の上で向い風を帆に受けるほど速くなるんだぜ
「向い風」だぜ！
メキシコからの「向い風」ってのは……

GOAL
ゴールまで 50メートル!
離すッ! 離して 抜けて来たッ!!
来たッ! 来たッ! 来たッ!
あと 30!

ま まさか
背中… マント……
あ…あれは 鉄球!! 鉄球を巻き込んで 帆にして……

「帆船」――
「風の力」「メキシコからの熱い風」――
抜けるッ！抜けるッ！ゴールが近づくうう!!

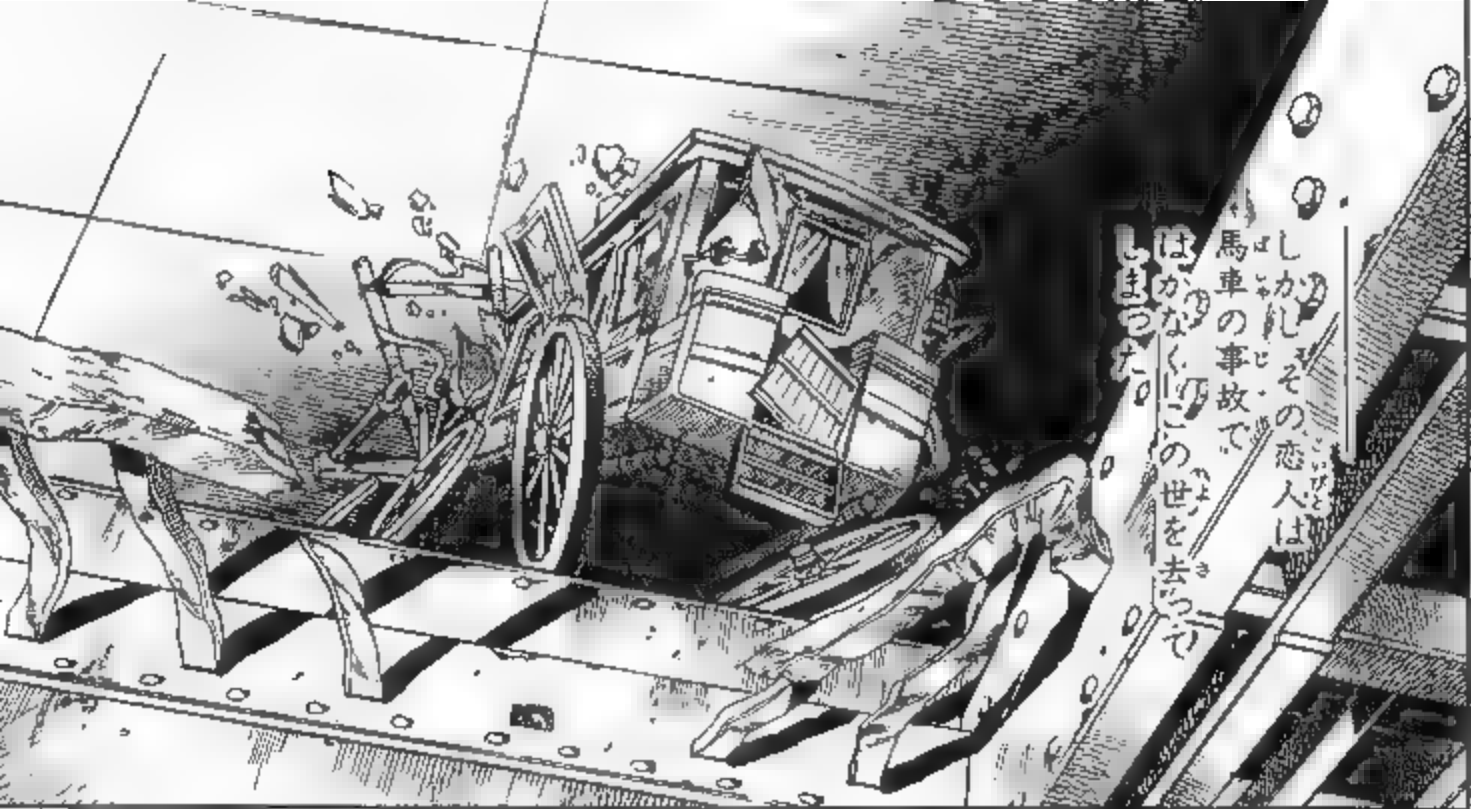
ドドドオ
ジャイロ・ツェペリ1着うううう〜〜〜〜ッ
後続を5馬身以上離して圧勝オオオオーーッ
スタート時から最終直線まで強いぞッ!!
ワァァァァ

1st.STAGEの
王者は
ジャイロ・ツェペリだッ!
走行タイム
18分07秒オオ
〜〜〜〜ッ!
『スティール・ボール・ラン』の
『レースリーダー』
誕生だ
あああーーッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
②1st.STAGE 15,000メートル(完)

番外編 〜スティール・ボール・ラン レース開催のいきさつ〜

大会プロモーターのスティーブン・スティール氏(51)の生い立ちは以下のとおりだ

スティーブンは1840年ニューヨークにアイルランド移民の子7人兄弟の四男として生まれた
父親は貧しい鍛冶屋

スティーブンは15歳の時花屋の美しい娘に恋をし将来を誓い合った

しかしその恋人は
馬車の事故で
はかなくこの世を去って
しまった

悲嘆にくれたスティーブンは
もう決して人を恋したりはしないと
深く心に刻みつけた
そして騎兵隊に身を投じた

16歳ですでに身長は
190センチ
その騎乗姿はまるで
隊長のようだった

1858年(18歳) スティーブン 退院後 騎兵隊を除隊 途方にくれる
スティーブンの特技は
口から飲んだ金魚を鼻からポンポン出す事
これをサーカスのアルバイトでニセ東洋人のカッコウでみせたらバカうけ

1859年(19歳) スティーブン サーカスの花形スターとなる

1860年(20歳) スティーブン サーカスで全米ツアー

1861年(21歳) スティーブン サーカスで「チビ女のレスリング」「目玉とび出し男」「フタの綱渡り」
プロデュース さらにサーカスは大ヒット

1863年(23歳) スティーブン 座長をさしおいて王様のように指揮しはじめたとしてサーカスで大ゲンカ
サーカスをクビになる

1865年(25歳) スティーブン ヘビー級ボクサーになる

1866年(26歳) スティーブン 借金取り立て屋になる

1867年(27歳) スティーブン ボクシングの八百長試合を無視
対戦相手をたたきのめす
スティーブン ヤクザに命を狙われ殺し屋の銃弾を
右ヒザにくらう

1868年(28歳) スティーブン 消息を絶つ
一説では船乗りになって国外に逃げたとされる

1881年(41歳) スティーブン サンフランシスコにあらわれる
コスタリカに「恐竜」を探しに行くぞと
新聞社にもちかけたら この記事でE&Wトリビューン紙
発行部数を2倍にのばす

1883年(43歳) スティーブン プロモーターを名乗る
「ロッキー山脈雪男生け捕り作戦」
「洞窟3本足の象捜索」
「20メートルのペンギン探検隊」
「実録！幽霊屋敷で新婚カップルの生活報告」などバカうけ連発

1886年(46歳) スティーブン サン・ノゼに豪邸を建て 召し使いを8人やとう
スティーブン 趣味は絵画集め フランスの画家モネ等購入する
スティーブン 大学を受験する 不合格

誰にも相手に
されなくなってしまう
オレのは
違う
オレのは
ファンタジー
なのに…
豪邸も売り借金まみれ
スティーブンは再びドン底に
落ちてしまった…

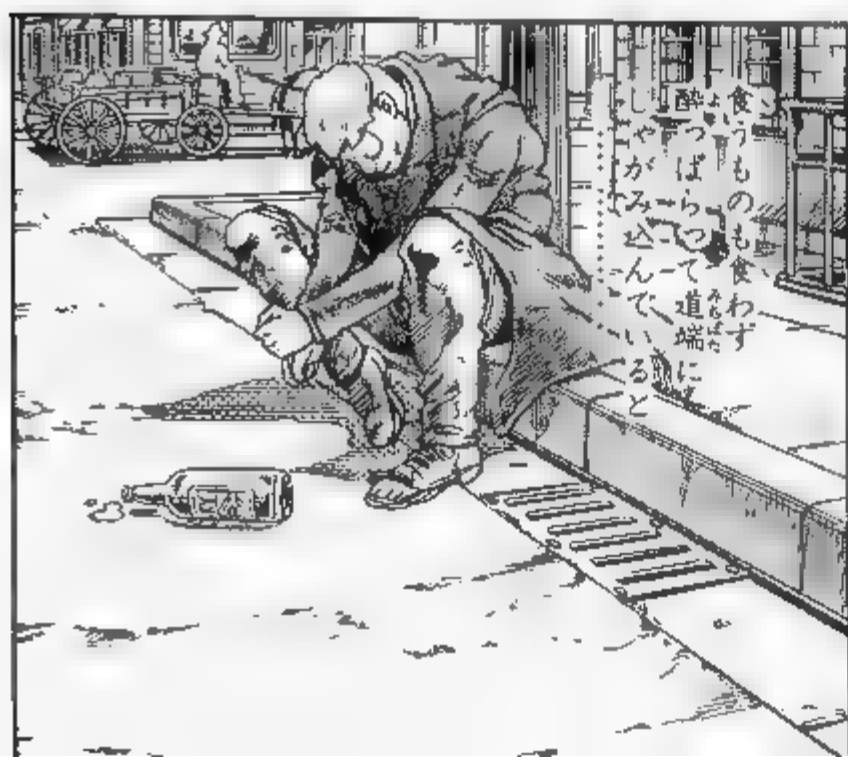
レースってアメリカ大陸を横断すればいいのよ
賞金もう〜〜〜〜〜んとでっかく5000万ドルくらいね
夢ってのはそれくらいじゃあなくっちゃ!

誰がそんなバカ話に乗ってくるっていうんだッ!
ブワハハハッ!
向こうへ行け!ひとりにしてくれッ!
そして再び酒場へ行きケンカして便所の裏で寝た

酔っぱらいのひとり言を聞いていた小さな女の子が会話を返して来た

次の日目を醒ますと
数人の男たちがスティール・ボール・ランを取り囲んで集まっていた

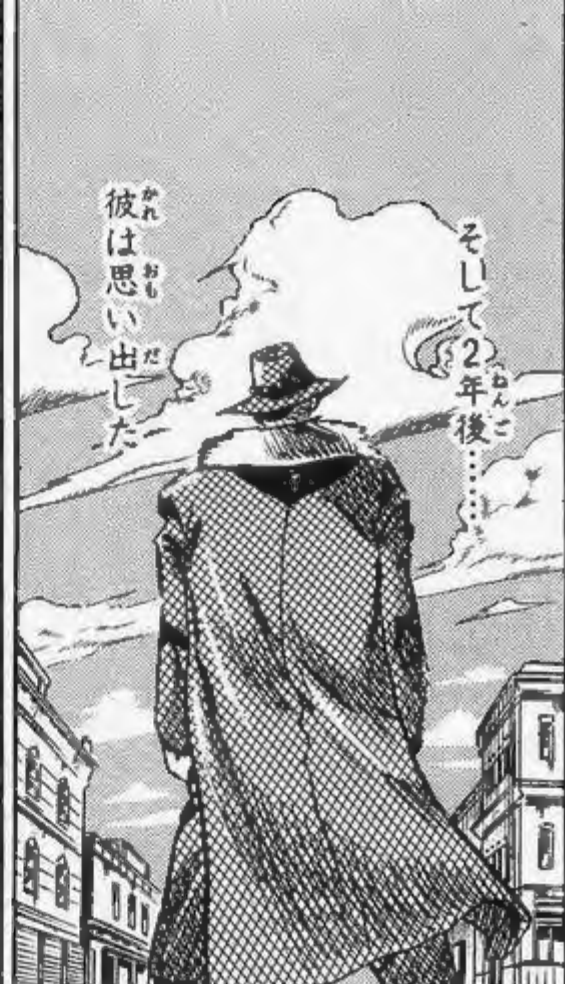
我々はイーストアンドウエスト新聞社の者だが

これからはスポーツの時代だ……スポンサーを考えてもいいと思っている

そして2年後……

彼は思い出した

道端であの時出会った

「女の子」がチャンスをくれたんだ……

そうだ……お礼に行こう……!

そこにいたのは成長した女の子だった

そして少年時代……初恋だった彼女に瓜二つ

少なくともスティーブンにはそうとしか思えなかった

スティーブン・
スティール氏の
ファンタジー
……

番外編〜スティール・ボール・ラン
レース開催のいきさつ〜(完)

to be continued...
next 2nd STAGE!!

■ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RUN

2 1st.(ファースト) STAGE(ステージ) 15,000メートル

2004年5月25日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山路則隆

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-873613-3 C9979